

基本計画 重点プログラム
市民アンケート結果
(まちづくり評価委員会資料)

平成27年(2015年)7月

横須賀市都市政策研究所

はじめに

横須賀市では、平成10年に策定した横須賀市総合計画に基づき、「国際海の手文化都市」を目指したまちづくりを進めています。

平成23年4月からは、市の基本的な政策・施策の体系、政策の目標などを示した、新たな基本計画がスタートしています。

この基本計画では、計画期間中に、特に重点的・優先的に実行する取り組みとして、持続可能な発展に必要な都市力の向上を目的とした「重点プログラム」を位置付けています。

今回、重点プログラムの目的、各プログラムの取り組みの方向性に対する市民の皆さまの実感を伺うアンケート調査を実施しました。(15歳以上の2,000の方が対象)本調査は、平成23年度から継続して実施しているものです。

調査で得られた結果は、重点政策・施策評価や政策展開を検討する上での基礎資料として、十分に活用してまいります。

本調査にご協力いただきました皆さまには、厚くお礼申し上げます。

平成27年(2015年)7月

横須賀市都市政策研究所

報告書の見方

1. 基本計画重点プログラム市民アンケートでは、各重点プログラムが実現を目指す都市の姿、その都市の姿を実現するための取り組みの方向性について、以下のとおり設問し、実感を尋ねている。(P70 アンケート調査票参照)

(1) 現在について

重点プログラムの取り組みの方向性で掲げる状態にあるか

⇒ 「①思う」「② やや思う」「③どちらともいえない」「④ あまり思わない」「⑤思わない」の5段階と、「⑥わからない」を設定

(2) 以前との比較

重点プログラムの取り組みの方向性に向かって

⇒ 「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」「③変わっていない」「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」の5段階と、「⑥わからない」を設定

2. アンケートの設問に対する回答者の傾向を観察するため、DI（ディフュージョンインデックス 景気動向指数／拡散指数）の考え方を利用している。

プラスの回答ポイント - マイナスの回答ポイント = DI として記述している。

※DI とは、「良い／悪い」「上昇／下落」といった定性的な指標を数値化して得られた指数をいう。
マイナス 100 からプラス 100 の間を取る。

3. 集計結果では、「⑥わからない」と「無回答」を除いて、回答割合を算出している。
回答率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入したため、合計が100%とならない場合がある。

・現在について 「①思う」 + 「② やや思う」

・以前との比較 「①よくなっている」 + 「②どちらかというよくなっている」

⇒プラスの回答ポイント

・現在について 「④ あまり思わない」 + 「⑤思わない」

・以前との比較 「④どちらかという悪くなっている」 + 「⑤悪くなっている」

⇒マイナスの回答ポイント

・DI がプラス … アンケート回答者の実感が、良好・改善の傾向にある

・DI がマイナス … アンケート回答者の実感が、停滞・後退の傾向にある

4. 調査結果では、各項目の平成 25 年度から 27 年度までの直近 3 カ年の DI の比較を行い、その数値の変化について以下の基準で記述している。また、参考として平成 23 年度の調査開始時から 27 年度への DI の推移を掲載している。

| 各年度間の差 | 状況 |
|---------------|---------------|
| 3 ポイント未満 | 変化なし |
| 3 ～ 5 ポイント未満 | 大きな変化なし |
| 5 ～ 10 ポイント未満 | 上昇 / 低下 |
| 10 ポイント以上 | 大幅に上昇 / 大幅に低下 |

目 次

| | |
|---|----|
| I 調査目的および実施方法等 | 1 |
| II 集計結果 –プログラム別の状況– | 5 |
| 重点プログラム1「新しい芽を育む」 ～子どもを産み育てやすいまちづくり・人間性豊かな子どもの育成～ | |
| 1 取り組みの方向性の傾向 | 5 |
| 2 回答理由分類 | 9 |
| 重点プログラム2「命を守る」 ～誰もが活躍できるまちづくり・安全で安心なまちづくり～ | |
| 1 取り組みの方向性の傾向 | 15 |
| 2 回答理由分類 | 19 |
| 重点プログラム3「環境を守る」 ～人と自然が共生するまちづくり・地球環境に貢献するまちづくり～ | |
| 1 取り組みの方向性の傾向 | 25 |
| 2 回答理由分類 | 29 |
| 重点プログラム4「にぎわいを生む」 ～地域経済の活性化と雇用の創出・集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり～ | |
| 1 取り組みの方向性の傾向 | 33 |
| 2 回答理由分類 | 37 |
| 重点プログラム5「地域力を育む」 ～地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり・地域を支えるコミュニティ機能の強化～ | |
| 1 取り組みの方向性の傾向 | 43 |
| 2 回答理由分類 | 47 |

| | |
|--|----|
| Ⅲ 持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）について | 51 |
| 1 持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）を備えているまちの傾向 | 51 |
| 2 回答理由分類 | 54 |
| | |
| Ⅳ 持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力） | |
| －優先して取り組むべき政策について－ | 57 |
| 1 優先して取り組むべき政策の傾向 | 57 |
| 2 優先して取り組むべき政策と取り組みの方向性に対する現在の実感 | 59 |
| | |
| Ⅴ 横須賀市の住み良さや定住意識について | 61 |
| 1 横須賀市の住み良さについて | 61 |
| 2 横須賀市への定住意識について | 62 |
| | |
| 基本的な属性（F 1～F 6） | 67 |
| | |
| 調査票 | 70 |

I 調査目的および実施方法等

1 調査目的

- (1) 横須賀市基本計画（2011～2021）に掲げた重点プログラムの目的である「持続可能な発展に必要な都市力（都市の魅力）」の向上や、各プログラムが目指す都市の姿を実現するための取り組みの方向性について、市民の実感を把握し、今後の政策・施策の改善に活用する。
- (2) 重点プログラムを効果的に推進するため、プログラムを構成する事業を検証し、今後の方向性を検討する重点政策・施策評価に活用する。

2 調査項目

- | | |
|---------|-----------------------------|
| 問 1～10 | 「都市の姿を実現するための取り組みの方向性」について |
| 問 11 | 「持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）」について |
| 問 12 | 「優先して取り組むべき政策」について |
| 問 13 | 「横須賀市の住み良さ」について |
| 問 14～16 | 「横須賀市への定住意識」について |
| 問 17～21 | 「健康づくり」について |
| 問 22・23 | 「地産地消」について |
| 問 24～26 | 「横須賀製鉄所（造船所）」について |

<基本的な属性>

F 1 性別 / F 2 年齢 / F 3 居住地域 / F 4 職業 /
F 5 世帯の状況 / F 6 居住年数

3 調査項目と重点プログラムの対応関係

アンケートの調査項目のうち、問1～問10は、各重点プログラムが目指す都市の姿を実現するための取り組みの方向性に対応した設問である。

また、問11は、重点プログラムの目的である「持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）」についての設問で、いずれも、**市民の実感**を尋ねる内容となっている。

調査項目と基本計画重点プログラムの対応関係

| 重点プログラム | | 取り組みの方向性 | | 対応する設問 |
|---------|---------|----------|-----------------------|--------|
| 1 | 新しい芽を育む | 1-1 | 子どもを産み育てやすいまちづくり | 問1 |
| | | 1-2 | 人間性豊かな子どもの育成 | 問2 |
| 2 | 命を守る | 2-1 | 誰もが活躍できるまちづくり | 問3 |
| | | 2-2 | 安全で安心なまちづくり | 問4 |
| 3 | 環境を守る | 3-1 | 人と自然が共生するまちづくり | 問5 |
| | | 3-2 | 地球環境に貢献するまちづくり | 問6 |
| 4 | にぎわいを生む | 4-1 | 地域経済の活性化と雇用の創出 | 問7 |
| | | 4-2 | 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり | 問8 |
| 5 | 地域力を育む | 5-1 | 地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり | 問9 |
| | | 5-2 | 地域を支えるコミュニティー機能の強化 | 問10 |

4 調査対象および回収数

調査対象：横須賀市に在住の15歳以上の市民 2,000人

(平成27年4月1日現在；住民基本台帳から無作為抽出)

| 回収数 | 回収率 | 昨年度比 |
|------|-------|----------|
| 718件 | 35.9% | ▲0.7ポイント |

5 実施方法

郵送による発送および回収

アンケートの実施に際しては、昨年度の調査同様、基本計画に掲げた重点プログラムの内容や目標、達成に向けた取り組みへの理解を促すための参考資料を同封した。

【昨年度の調査との変更点】

◆設問の変更

横須賀市の魅力、イメージや横須賀市への愛着を尋ねる設問について、過年度の調査結果において経年の変化があまり見られないことから、毎年度ではなく一定の間隔を空けて設問することとし、今年度の設問を見送った。

6 実施時期

平成 27 年（2015 年）4 月 22 日 ～ 5 月 11 日 * 発送日－投函締切日

7 調査の企画・分析

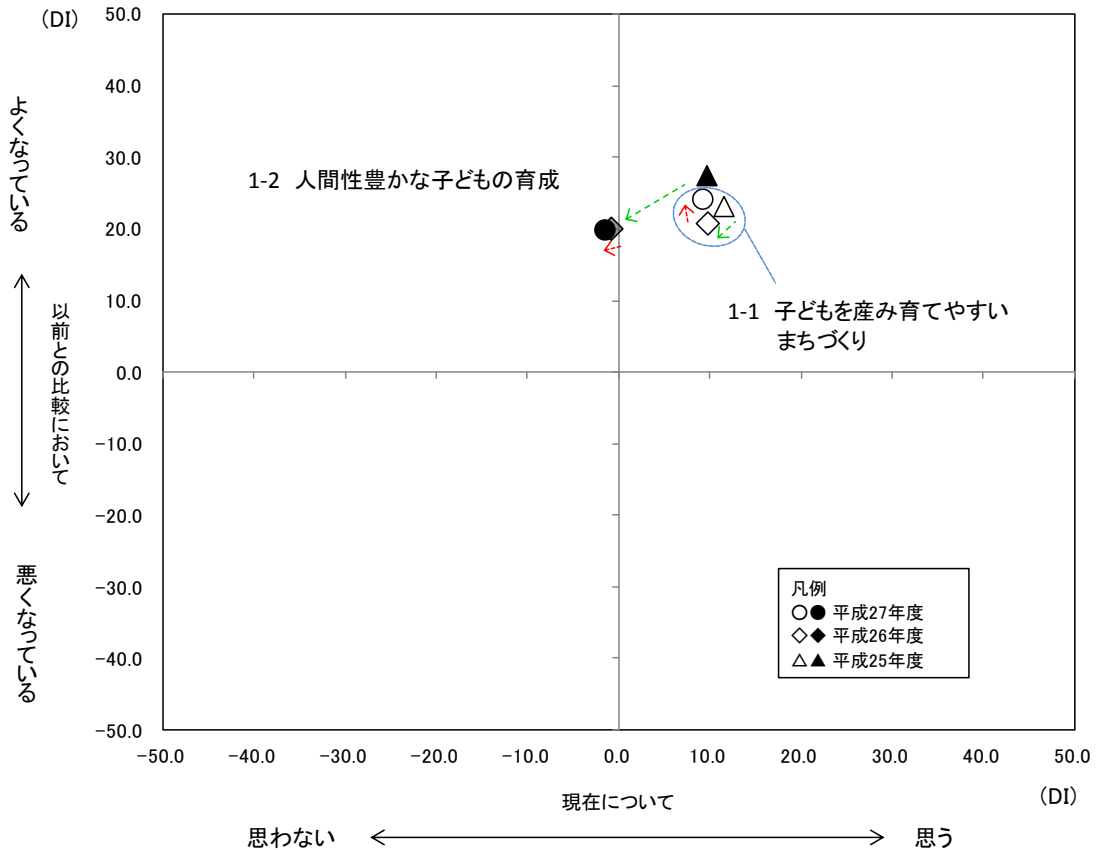
横須賀市都市政策研究所で実施

II 集計結果 –プログラム別の状況–

重点プログラム1 『新しい芽を育む』 ～子どもを産み育てやすいまちづくり・人間性豊かな子どもの育成～

1 取り組みの方向性の傾向

図表Ⅱ－1 重点プログラム1の取り組みの方向性の状況（H27-25年度比較）



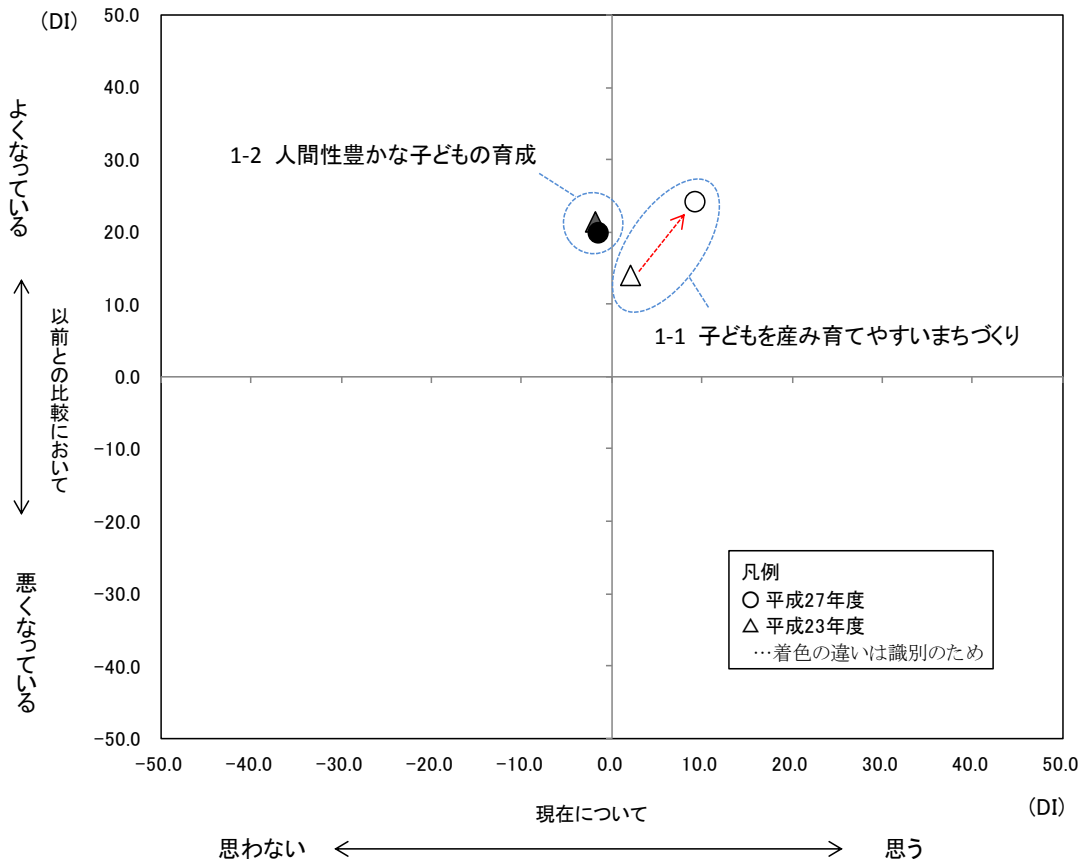
【現在について】

| 取り組みの方向性 | 調査年度 | 件数(人) | (ポイント) | | | | | |
|---------------------------|------|-------|---------------|------------|--------------------|------------|--------|----------|
| | | | ①思う+②やや思う (a) | ③どちらともいえない | ④あまり思わない+⑤思わない (b) | DI (a)-(b) | 前年度比 | 27-23年度比 |
| (1-1) 子どもを産み育てやすいまちづくり | 27年度 | 481 | 40.5 | 28.1 | 31.4 | 9.1 | ▲ 0.6 | 7.1 |
| | 26年度 | 515 | 40.6 | 28.5 | 30.9 | 9.7 | ▲ 1.8 | |
| | 25年度 | 540 | 41.3 | 28.9 | 29.8 | 11.5 | 5.6 | |
| | 24年度 | 589 | 39.9 | 26.1 | 34.0 | 5.9 | 3.9 | |
| | 23年度 | 597 | 38.2 | 25.6 | 36.2 | 2.0 | — | |
| (1-2) 人間性豊かな子どもの育成 | 27年度 | 439 | 32.8 | 32.8 | 34.4 | ▲ 1.6 | ▲ 0.7 | 0.3 |
| | 26年度 | 452 | 32.3 | 34.5 | 33.2 | ▲ 0.9 | ▲ 10.5 | |
| | 25年度 | 489 | 39.7 | 30.3 | 30.1 | 9.6 | 9.9 | |
| | 24年度 | 554 | 34.5 | 30.7 | 34.8 | ▲ 0.3 | 1.6 | |
| | 23年度 | 555 | 31.4 | 35.3 | 33.3 | ▲ 1.9 | — | |

【以前の比較】

| 取り組みの方向性 | 調査年度 | 件数(人) | (ポイント) | | | | | |
|---------------------------|------|-------|------------------------------|----------|------------------------------|------------|-------|----------|
| | | | ①よくなっている+②どちらかというよくなっている (a) | ③変わっていない | ④どちらかというよくなっている+⑤悪くなっている (b) | DI (a)-(b) | 前年度比 | 27-23年度比 |
| (1-1) 子どもを産み育てやすいまちづくり | 27年度 | 413 | 41.7 | 40.9 | 17.4 | 24.3 | 3.4 | 10.2 |
| | 26年度 | 421 | 39.2 | 42.5 | 18.3 | 20.9 | ▲ 2.4 | |
| | 25年度 | 434 | 41.0 | 41.2 | 17.7 | 23.3 | 5.5 | |
| | 24年度 | 497 | 37.7 | 42.5 | 19.9 | 17.8 | 3.7 | |
| | 23年度 | 524 | 37.6 | 38.9 | 23.5 | 14.1 | — | |
| (1-2) 人間性豊かな子どもの育成 | 27年度 | 359 | 32.8 | 54.3 | 12.8 | 20.0 | ▲ 0.2 | ▲ 1.5 |
| | 26年度 | 377 | 33.2 | 53.8 | 13.0 | 20.2 | ▲ 7.4 | |
| | 25年度 | 406 | 39.2 | 49.3 | 11.6 | 27.6 | ▲ 0.4 | |
| | 24年度 | 444 | 40.1 | 47.7 | 12.1 | 28.0 | 6.5 | |
| | 23年度 | 476 | 35.3 | 50.8 | 13.8 | 21.5 | — | |

【参考】 重点プログラム1の取り組みの方向性の状況 (H27-23年度比較)



(1) 1-1 子どもを産み育てやすいまちづくり

今回調査のDIは、「現在について」「以前との比較」とともにプラスで、前年度調査からの大きな変化も見られなかった。平成25年度以降ほぼ横ばいで推移しており、特に「以前との比較」では約25ポイントの比較的高い値となっていることから、実感が得られている状態といえる。この取り組みの方向性は、政策の優先度が最も高い項目である。
(P57 参照)

| 現在について | | | | 以前との比較 | | | | | | | |
|-------------------------------|---|-----|-------------------|-------------------------------|-------|------|-------------------|------|-------------|------|-----|
| DIの推移 (25年度 → 26年度 → 27年度) | | | 年度差と状況 (対26年度) | DIの推移 (25年度 → 26年度 → 27年度) | | | 年度差と状況 (対26年度) | | | | |
| 11.5 | → | 9.7 | → | 9.1 | ▲ 0.6 | 23.3 | → | 20.9 | → | 24.3 | 3.4 |
| | | | | 変化なし | | | | | 大きな 変化なし | | |

【回答理由】

◆現在について「①思う」「②やや思う」

「自然環境の充実」が最も多く挙げられている。次いで多く挙げられた「子育て支援施策や助成等の充実」では、小児医療費助成（小児医療費助成対象年齢の拡大）についての記載が多く見られた。ほかに、子どもを預ける場の充実、公園の充実などが挙げられている。

◆現在について「④あまり思わない」「⑤思わない」

産科、小児科、総合病院や健診などの「医療体制が不十分（医師数含む）」が突出して多く、この傾向は前年度調査と同様である。ほかに、出産・子育てにかかる費用負担や助成に対する不足感が多く挙げられている。中でも、小児医療費助成に対する不足感が多く挙げられ、上述のように肯定的な回答理由としても比較的多く挙げられていることから実感に差が見られる。

◆以前との比較「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

「子育て支援施策や助成の充実」が突出して多く挙げられ、ここでも、小児医療費助成についての記載が多く見られた。次いで「子どもを預ける場の充実」が多く挙げられたが、「現在について」の否定的な回答理由としても3番目に多く挙げられており（P10 参照）、実感としてはまだ不足感がうかがえる。

◆以前との比較「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答数は多くないが、「現在について」と同様に、産科、小児科、総合病院などの「医療体制が不十分」が多く挙げられている。

(回答理由分類についてはP9 参照)

(2) 1-2 人間性豊かな子どもの育成

今回調査のDIは、「現在について」がマイナスで、大幅に低下した前年度調査からの変化も見られなかった。「以前との比較」では横ばいの状況だが、約20ポイントのプラス値で、一応の実感は保たれているとみられることもできる。

| 現在について | | 以前との比較 | |
|-------------------------------|-------------------|-------------------------------|-------------------|
| DIの推移 (25年度 → 26年度 → 27年度) | 年度差と状況 (対26年度) | DIの推移 (25年度 → 26年度 → 27年度) | 年度差と状況 (対26年度) |
| 9.6 → ▲0.9 → ▲1.6 | ▲0.7 変化なし | 27.6 → 20.2 → 20.0 | ▲0.2 変化なし |

【回答理由】

◆現在について「①思う」「②やや思う」

市の施策の充実について最も多く挙げられており、「学力向上」や「国際コミュニケーション能力育成」の記載が見られた。次いで、各学校の取り組みや行事、授業内容、方針などの「学校教育の充実」や、「子どもたちの様子を見て」として、回答者の身近な子どもたちとの交流の中での実感も挙げられている。

◆現在について「④あまり思わない」「⑤思わない」

市の施策に対する不足感が最も多く、「学力」「いじめ・不登校」「中学校給食」などの記載が見られた。次いで、「教育環境が不十分」「施策の具体的な内容が見えない」などが多く挙げられ、これらの傾向は前年度調査からほとんど変化は見られない。

◆以前との比較「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

回答数は多くないが、市の施策の充実が多く挙げられ、前年度調査と比較して「不登校・いじめ対策」「横須賀総合高等学校の改革」などの記載が見られた。ほかに、「現在について」と同様に、子どもたちの様子からの実感も挙げられている。

◆以前との比較「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答数は少ないが、「子どもたちの様子を見て」「人間関係の希薄化」などが挙げられ、少子化やコミュニケーションの変容などによる他者との関わりあいについて触れている回答が見られた。また、道徳教育や大人の様子、家庭におけるしつけなど、子どもたちの変化、子どもを取り巻く環境の変化を感じられている様子がうかがえた、

(回答理由分類についてはP12参照)

2 回答理由分類

(1) 1-1 子どもを産み育てやすいまちづくり

【現在について】

「①思う」「②やや思う」

※ () は内数

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|-----------------------------------|--------|--------|
| 自然が多い、海・山がある、気候が温暖など自然環境の充実 | 53 | 29.1 |
| 子育て支援施策や助成等の充実 | 28 | 15.4 |
| 小児医療費助成 | (17) | |
| 子どもを預ける場の充実 | 17 | 9.3 |
| 幼稚園・保育園(認定子ども園)の充実、待機児童の減少 | (14) | |
| 学童クラブの充実 | (2) | |
| 公園、みんなの家、支援センターなど子育て関連施設や遊び場の充実 | 12 | 6.6 |
| 公園の充実 | (9) | |
| 環境がよい、住みやすい、子育てで不便を感じない、自宅近くで用が済む | 9 | 4.9 |
| 地域性・市民性(のんびり、穏やか)、都会と田舎の両面性 | 8 | 4.4 |
| 教育(学校・塾)・文化環境の充実、学校が近い | 8 | 4.4 |
| 国際コミュニケーション能力育成、ALT | (2) | |
| 治安がよい、安全 | 5 | 2.7 |
| ボランティアや地域の子育て支援体制の充実、地域力が高い | 4 | 2.2 |
| 周囲の人の子育てを見て | 4 | 2.2 |
| 都心に近い、交通利便性が高い | 3 | 1.6 |
| 病院など医療体制の充実 | 2 | 1.1 |
| 他都市と比較してよい | 2 | 1.1 |
| その他、意見等 | 14 | 7.7 |
| 否定的な回答理由 | 13 | 7.1 |
| | 182 | 100.0 |

「④あまり思わない」「⑤思わない」

※ () は内数

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|------------------------------------|--------|--------|
| 病院、乳幼児健診など医療体制が不十分（医師数を含む） | 42 | 25.0 |
| 産科が不十分 | (31) | |
| 小児科が不十分 | (6) | |
| 医療、出産、保育、教育にかかる費用が高い、助成などの支援が不十分 | 22 | 13.1 |
| 小児医療費助成 | (15) | |
| 子どもを預ける場が不十分 | 19 | 11.3 |
| 幼稚園・保育園が不十分、待機児童数が多い | (14) | |
| 学童クラブが不十分 | (2) | |
| 公園や遊び場、子育て関連施設の不足、規制が多い | 13 | 7.7 |
| 施策が不十分、特色がない | 11 | 6.5 |
| 中学校給食がない | (5) | |
| 他都市との比較によるサービスの不足、遅れている | 11 | 6.5 |
| 教育環境が不十分（学校・塾・施設）、大学が少ない、教育の質がよくない | 7 | 4.2 |
| 子どもが少ない、見かけない | 6 | 3.6 |
| 雇用が少ない、市内で働いて子育てができない | 5 | 3.0 |
| 道路・歩道が狭い、段差がある、通学路整備が不十分 | 4 | 2.4 |
| 治安が悪い | 4 | 2.4 |
| 公共交通の利便性が低い | 3 | 1.8 |
| 地域の間人関係が希薄、サポートが得られない | 3 | 1.8 |
| 施策・支援が見えない | 3 | 1.8 |
| PR、情報発信が少ない | 2 | 1.2 |
| 人口減少、若年層の減少 | 2 | 1.2 |
| 住みにくい | 2 | 1.2 |
| その他、意見等 | 8 | 4.8 |
| 肯定的な回答理由 | 1 | 0.6 |
| | 168 | 100.0 |

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

※（ ）は内数

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|-----------------------------|--------|--------|
| 子育て支援施策や助成の充実 | 49 | 38.3 |
| 小児医療費助成 | (37) | |
| 子どもを預ける場の充実 | 16 | 12.5 |
| 幼稚園・保育園の充実、待機児童の減少 | (7) | |
| 学童クラブの充実 | (7) | |
| 産科、病院など医療体制の充実 | 7 | 5.5 |
| 公園、コミュニティ広場など子育て関連施設や遊び場の充実 | 5 | 3.9 |
| ボランティアや地域の子育て支援体制の充実 | 5 | 3.9 |
| 子どもたちの様子を見て(あいさつなど) | 4 | 3.1 |
| 子どもを見かける、若い世帯の増加 | 3 | 2.3 |
| 商業施設の充実 | 3 | 2.3 |
| 人から聞いて、事業内容を見て | 3 | 2.3 |
| 努力が見える | 3 | 2.3 |
| 子どもに対する大人の意識の変化(目を向けている) | 3 | 2.3 |
| 自身の子育て時期と比較して | 3 | 2.3 |
| 治安がよい、安全 | 2 | 1.6 |
| その他、意見等 | 11 | 8.6 |
| 否定的な回答理由 | 11 | 8.6 |
| | 128 | 100.0 |

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|-------------------------|--------|--------|
| 病院など医療体制が不十分 | 16 | 22.9 |
| 産科が不十分 | (11) | |
| 公園や子育て関連施設、遊び場の不足、未整備 | 7 | 10.0 |
| 子どもが少ない、見かけない | 6 | 8.6 |
| 治安が悪い、安全ではない、外国人の増加 | 6 | 8.6 |
| 人口減少、転出、若年層の流出 | 4 | 5.7 |
| 雇用が少ない、働きながら子育てがしにくい | 3 | 4.3 |
| 子どもを預ける場が少ない、幼稚園・保育園の不足 | 3 | 4.3 |
| 昔の方がよかった、以前の方が便利だった | 3 | 4.3 |
| 教育環境が不十分(学校が遠い) | 2 | 2.9 |
| 自然破壊、自然の減少 | 2 | 2.9 |
| 子どもの減少に伴う地域活動の衰退 | 2 | 2.9 |
| 空き家の増加 | 2 | 2.9 |
| 親の様子を見て | 2 | 2.9 |
| 生活の悪化 | 2 | 2.9 |
| その他、意見等 | 10 | 14.3 |
| | 70 | 100.0 |

(2) 1-2 人間性豊かな子どもの育成

【現在について】

「①思う」「②やや思う」

※ () は内数

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|---------------------------|--------|--------|
| 施策の充実 | 22 | 21.8 |
| 学力向上 | (6) | |
| 国際コミュニケーション能力育成 (ALT) | (6) | |
| いじめ・不登校対策 | (2) | |
| 学校教育の充実、授業内容・教育方針がよい | 14 | 13.9 |
| 子どもたちの様子を見て | 10 | 9.9 |
| 元気、のびのびしている、素直 | (4) | |
| あいさつをしてくれる | (3) | |
| 自然環境がよい | 10 | 9.9 |
| 子育て・社会教育施設の充実、公園の整備 | 5 | 5.0 |
| 人から聞いて、事業内容を見て | 5 | 5.0 |
| 外国人との交流ができる | 4 | 4.0 |
| イベントの開催 | 4 | 4.0 |
| 地域の子育て・教育支援体制の充実、学校と地域の連携 | 3 | 3.0 |
| 環境がよい、環境整備が進んでいる | 2 | 2.0 |
| 雰囲気が穏やか | 2 | 2.0 |
| 情報発信 | 2 | 2.0 |
| 保育所の充実、統合保育 | 2 | 2.0 |
| その他、意見等 | 12 | 11.9 |
| 否定的な回答理由 | 4 | 4.0 |
| | 101 | 100.0 |

「④あまり思わない」「⑤思わない」

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|----------------------------------|--------|--------|
| 施策が不十分 | 17 | 15.2 |
| 学力が低い | (4) | |
| いじめ・不登校がある | (3) | |
| 中学校給食がない | (3) | |
| 学力偏重 | (2) | |
| 教育環境が不十分 | 13 | 11.6 |
| 教員の資質がよくない | (6) | |
| 施策の具体的な内容が見えない、取り組みが見えない、成果が見えない | 11 | 9.8 |
| 子どもたちの様子を見て | 8 | 7.1 |
| 大人・親がよくない、しつけができていない | 8 | 7.1 |
| 公園などの遊び場が不十分、子育て・社会教育施設が不十分、人材不足 | 7 | 6.3 |
| 大人と子どもの交流がない、人間関係の希薄化 | 6 | 5.4 |
| 人口減少、若年層の流出、若年層が増えない | 4 | 3.6 |
| 子育て世帯への支援が不十分 | 3 | 2.7 |
| 保育園、学童クラブが不十分 | 3 | 2.7 |
| 子どもを見かけない、子ども同士で遊ばない | 3 | 2.7 |
| 環境を生かしていない (自然、基地など) | 3 | 2.7 |
| 施策に特色がない | 3 | 2.7 |
| 施策の考え方・方向性に疑問がある | 2 | 1.8 |
| 変化を感じない | 2 | 1.8 |
| その他、意見等 | 19 | 17.0 |
| | 112 | 100.0 |

【以前の比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

※ () は内数

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|------------------------|--------|--------|
| 施策の充実 | 19 | 29.2 |
| 不登校・いじめ対策 | (5) | |
| 国際コミュニケーション能力育成 (ALT) | (3) | |
| キャリア教育 | (2) | |
| 横須賀総合高等学校の改革 | (2) | |
| 子どもたちの様子を見て | 5 | 7.7 |
| 学校と地域の連携、ボランティアや地域力の活用 | 4 | 6.2 |
| 公園など遊び場の充実、社会教育施設の充実 | 4 | 6.2 |
| 学校教育の充実、学校施設設備の充実 | 4 | 6.2 |
| 学校、教員が熱心 | 3 | 4.6 |
| 変化が見える、改善されている | 3 | 4.6 |
| 道路・歩道の整備 | 2 | 3.1 |
| 努力が見える | 2 | 3.1 |
| 事業内容を見て | 2 | 3.1 |
| その他、意見等 | 16 | 24.6 |
| 否定的な回答理由 | 1 | 1.5 |
| | 65 | 100.0 |

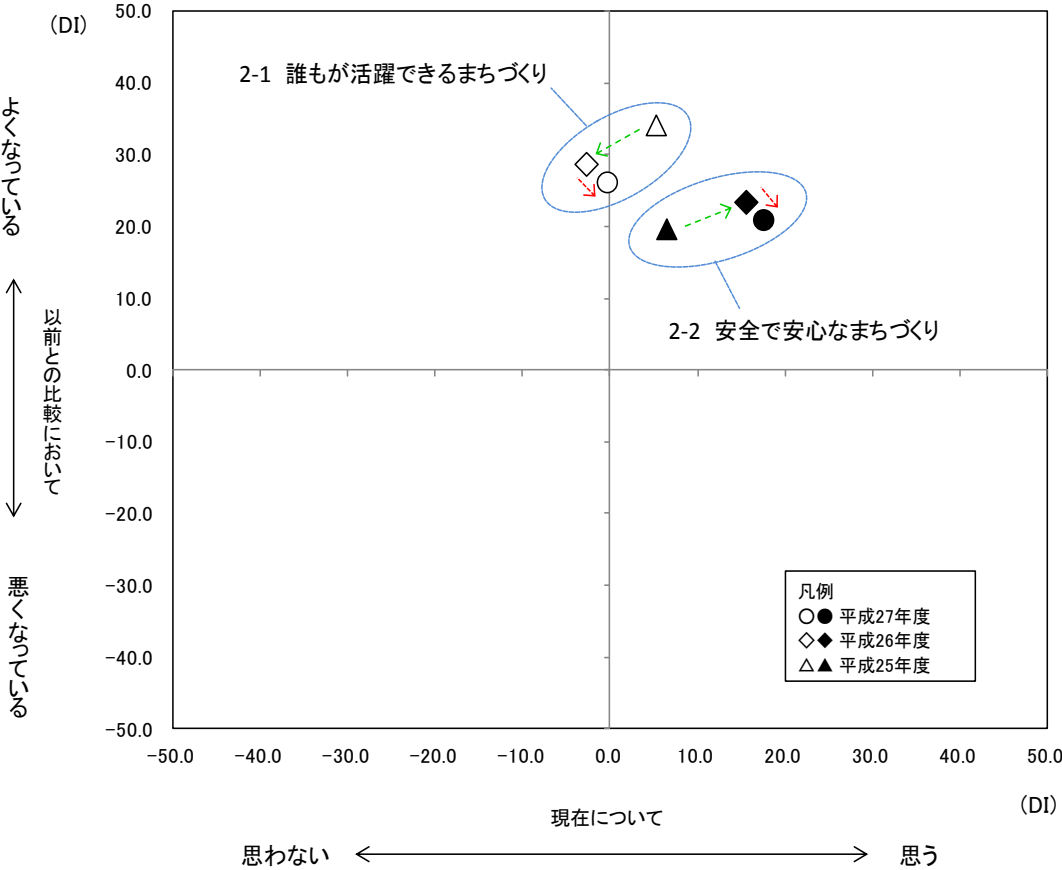
「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|-----------------------|--------|--------|
| 子どもたちの様子を見て | 6 | 15.8 |
| スマートフォン、ゲーム依存 | (2) | |
| 大人と子どもの交流がない、人間関係の希薄化 | 4 | 10.5 |
| 公園などの遊び場が不十分 | 4 | 10.5 |
| 学力偏重、道徳教育が少ない | 3 | 7.9 |
| 大人・親がよくない、しつけができていない | 3 | 7.9 |
| 昔の方がよかった、学校が悪化している | 3 | 7.9 |
| 施策の考え方・方向性に疑問がある | 2 | 5.3 |
| 子どもが外で遊ぶ姿を見かけない | 2 | 5.3 |
| その他、意見等 | 11 | 28.9 |
| | 38 | 100.0 |

重点プログラム2 『命を守る』
 ～誰もが活躍できるまちづくり・安全で安心なまちづくり～

1 取り組みの方向性の傾向

図表Ⅱ－2 重点プログラム2の取り組みの方向性の状況（H27-25年度比較）



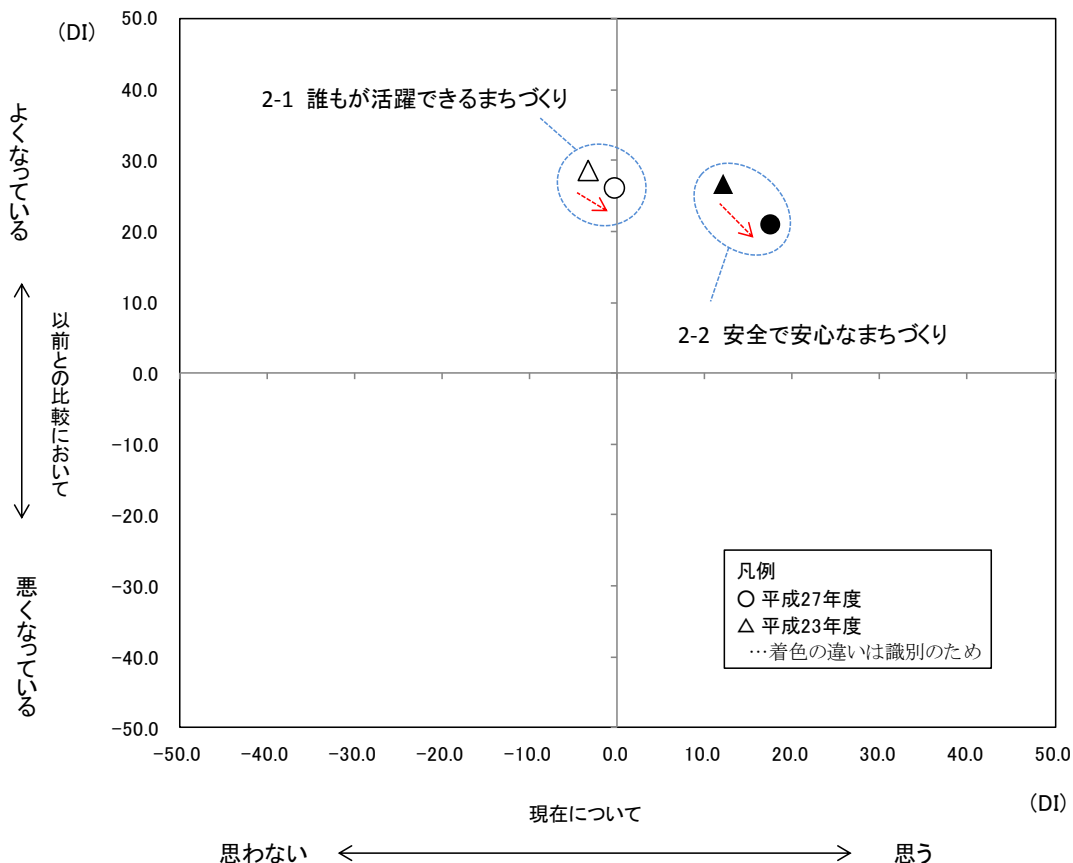
【現在について】

| 取り組みの方向性 | 調査年度 | 件数(人) | (ポイント) | | | | | |
|------------------------|-------------|------------|---------------|-------------|--------------------|--------------|------------|------------|
| | | | ①思う+②やや思う (a) | ③どちらともいえない | ④あまり思わない+⑤思わない (b) | DI (a)-(b) | 前年度比 | 27-23年度比 |
| (2-1) 誰もが活躍できるまちづくり | 27年度 | 577 | 34.3 | 31.0 | 34.7 | ▲ 0.4 | 2.4 | 3.0 |
| | 26年度 | 577 | 33.3 | 30.7 | 36.1 | ▲ 2.8 | ▲ 8.0 | |
| | 25年度 | 607 | 38.1 | 29.0 | 32.9 | 5.2 | 7.8 | |
| | 24年度 | 640 | 34.7 | 28.0 | 37.3 | ▲ 2.6 | 0.8 | |
| | 23年度 | 651 | 35.5 | 25.7 | 38.9 | ▲ 3.4 | — | |
| (2-2) 安全で安心なまちづくり | 27年度 | 675 | 45.6 | 26.2 | 28.1 | 17.5 | 2.0 | 5.4 |
| | 26年度 | 688 | 44.3 | 26.9 | 28.8 | 15.5 | 9.1 | |
| | 25年度 | 703 | 40.5 | 25.3 | 34.1 | 6.4 | 3.8 | |
| | 24年度 | 728 | 39.8 | 22.9 | 37.2 | 2.6 | ▲ 9.5 | |
| | 23年度 | 711 | 44.8 | 22.5 | 32.7 | 12.1 | — | |

【以前との比較】

| 取り組みの方向性 | 調査年度 | 件数(人) | (ポイント) | | | | | |
|------------------------|-------------|------------|------------------------------|-------------|------------------------------|-------------|--------------|--------------|
| | | | ①よくなっている+②どちらかというよくなっている (a) | ③変わっていない | ④どちらかという悪くなっている+⑤悪くなっている (b) | DI (a)-(b) | 前年度比 | 27-23年度比 |
| (2-1) 誰もが活躍できるまちづくり | 27年度 | 465 | 36.6 | 53.1 | 10.4 | 26.2 | ▲ 2.6 | ▲ 2.5 |
| | 26年度 | 480 | 39.2 | 50.4 | 10.4 | 28.8 | ▲ 5.4 | |
| | 25年度 | 509 | 44.4 | 45.4 | 10.2 | 34.2 | 2.5 | |
| | 24年度 | 529 | 40.5 | 50.7 | 8.8 | 31.7 | 3.0 | |
| | 23年度 | 557 | 39.8 | 49.0 | 11.1 | 28.7 | — | |
| (2-2) 安全で安心なまちづくり | 27年度 | 586 | 35.8 | 49.3 | 14.8 | 21.0 | ▲ 2.5 | ▲ 5.7 |
| | 26年度 | 601 | 38.0 | 47.6 | 14.5 | 23.5 | 3.8 | |
| | 25年度 | 619 | 37.6 | 44.4 | 17.9 | 19.7 | ▲ 0.1 | |
| | 24年度 | 638 | 38.0 | 43.9 | 18.2 | 19.8 | ▲ 6.9 | |
| | 23年度 | 645 | 41.0 | 44.7 | 14.3 | 26.7 | — | |

【参考】重点プログラム2の取り組みの方向性の状況 (H27-23 年度比較)



(1) 2-1 誰もが活躍できるまちづくり

今回調査の DI は、「現在について」でマイナスで、前年度調査からの変化も見られなかった。「以前との比較」では3カ年で8ポイント減少しているが、25ポイントを超えるプラス値で推移しており、実感は保たれているとみることができる。

| 現在について | | 以前との比較 | |
|-------------------------------|-------------------|-------------------------------|-------------------|
| DIの推移 (25年度 → 26年度 → 27年度) | 年度差と状況 (対26年度) | DIの推移 (25年度 → 26年度 → 27年度) | 年度差と状況 (対26年度) |
| 5.2 → ▲ 2.8 → ▲ 0.4 | 2.4 変化なし | 34.2 → 28.8 → 26.2 | ▲ 2.6 変化なし |

【回答理由】

◆現在について「①思う」「②やや思う」

「高齢者・障害者・健康増進施策の充実、支援体制の整備」として市の施策の充実が多く挙げられている。中でも、前年度調査と比較して健康増進施策についての記載が多く見られた。

◆現在について「④あまり思わない」「⑤思わない」

「活躍の場がない、活躍できていない、活躍しているのは一部の人のみ」が最も多く挙げられている。次いで、歩行のしにくさや交通利便性の低さが挙げられている。また、「雇用・企業の減少」「雇用の偏り」など、「誰もが活躍できる」という言葉から想起される状況として「雇用の安定」が大きな要素となっている様子がうかがえる。

◆以前との比較「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

「現在について」と同様に、市の施策の充実が最も多く挙げられている。次いで、「バリアフリー対策の充実」や「施設の充実」が多く挙げられ、まちなかで目に触れる機会が多い取り組みに対する実感がうかがえる。

◆以前との比較「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答数は少ないが、「雇用・企業の減少」が最も多い。ほかに、日常の他者とのかかわりの中での実感や、「商店街の衰退、商業施設の減少」などが挙げられている。

(回答理由分類については P19 参照)

(2) 2-2 安全で安心なまちづくり

今回調査の DI は、「現在について」「以前との比較」ともに 20 ポイント前後のプラス値となった。特に、「現在について」では3カ年で約 11 ポイント増加しており、実感は得られてきている状態といえる。

| 現在について | | | 以前との比較 | | | | |
|-------------------------------|--------|-------------------|-------------------------------|------|-------------------|--------|-------|
| DIの推移 (25年度 → 26年度 → 27年度) | | 年度差と状況 (対26年度) | DIの推移 (25年度 → 26年度 → 27年度) | | 年度差と状況 (対26年度) | | |
| 6.4 | → 15.5 | → 17.5 | 2.0 | 19.7 | → 23.5 | → 21.0 | ▲ 2.5 |
| | | | 変化なし | | | 変化なし | |

【回答理由】

◆現在について「①思う」「②やや思う」

「犯罪・事件の減少、治安がよい」が多く挙げられ、突出している。ほかに、「不安や危険を感じない、安心して生活できている、暮らしやすい」として、住環境のよさや日常生活における安心感が多く挙げられている。この傾向は前年度調査と同様である。

◆現在について「④あまり思わない」「⑤思わない」

「犯罪・事件が多い、治安が悪い、不審者がいる」が多く挙げられたほか、「通学路・歩道・道路の整備が不十分、交通量が多い、交通機関の遮断」などの交通面や「米軍・自衛隊基地、原子力空母、核燃料関連施設、外国からの攻撃の恐れ」など基地等の施設や放射能に関すること、また有事の際の不安などが多く挙げられている。

◆以前との比較「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

「防災・災害対策の充実」が最も多く挙げられ、対策状況が目に見えることからの安心感がうかがえる。ほかに、「犯罪・事件の減少、治安がよい」「交通安全対策の充実、事故の減少、バリアフリー化の推進、通学路・道路整備」などが多く挙げられている。

◆以前との比較「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答数は多くないが、「犯罪・事件の増加、治安が悪い、不審者がいる」など、この取り組みの方向性全体の傾向として、体感治安に関する理由が多く挙げられている。これは前年度調査と同様の傾向である。

(回答理由分類については P22 参照)

2 回答理由分類

(1) 2-1 誰もが活躍できるまちづくり

【現在について】

「①思う」「②やや思う」

※ () は内数

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|-----------------------------|--------|--------|
| 高齢者・障害者・健康増進施策の充実、支援体制の整備 | 28 | 22.8 |
| 健康増進施策 | (7) | |
| ラジオ体操、ウォーキング | (3) | |
| 市民スポーツ | (2) | |
| 高齢者・介護施策 | (6) | |
| シニアパス | (2) | |
| 障害者施策、特別支援教育 | (3) | |
| 就労場所の増加 | 11 | 8.9 |
| 障害者の就労場所・就労者の増加、就労の様子を見て | (6) | 8.1 |
| 活躍している、活躍する人・場の増加 | 10 | |
| 市民活動・ボランティア活動で活躍する人の増加 | (2) | |
| いきいきとしている | 7 | 5.7 |
| 介護老人福祉施設、障害者支援施設など施設の充実 | 7 | 5.7 |
| ノンステップバスの普及、バリアフリー対策の充実 | 6 | 4.9 |
| 差別を感じない、差別意識がない人が多い、思いやりがある | 6 | 4.9 |
| 検診事業、病院など医療体制の充実 | 5 | 4.1 |
| イベント・講座の開催 | 5 | 4.1 |
| 暮らしやすい、不自由・不便さを感じない | 5 | 4.1 |
| 防災・防犯対策など安全・安心面の充実 | 4 | 3.3 |
| 高齢者・障害者の外出が多い | 3 | 2.4 |
| 公共施設の利用 | 3 | 2.4 |
| 本人の意思があれば活躍できる | 2 | 1.6 |
| その他、意見等 | 14 | 11.4 |
| 否定的な回答理由 | 7 | 5.7 |
| | 123 | 100.0 |

「④あまり思わない」「⑤思わない」

※（ ）は内数

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|----------------------------------|--------|--------|
| 活躍の場がない、活躍できていない、活躍しているのは一部の人のみ | 23 | 17.3 |
| 障害者が活躍できていない | (3) | |
| 高齢者が活躍できていない | (3) | |
| 高齢者・障害者の活躍の場が少ない | (3) | |
| バリアフリー対策が不十分、歩道が狭い、坂・階段が多い、交通が不便 | 16 | 12.0 |
| 雇用・企業の減少 | 12 | 9.0 |
| 雇用の偏り | 9 | 6.8 |
| 若年層の雇用が少ない | (3) | |
| 高齢者の雇用が少ない | (2) | |
| 障害者の雇用が少ない | (2) | |
| 女性雇用が少ない | (2) | |
| 高齢者・障害者施策、いじめ・不登校対策、支援体制や助成が不十分 | 9 | 6.8 |
| 差別・偏見がある | 8 | 6.0 |
| 具体的な取り組みが見えない、何もしてくれない | 7 | 5.3 |
| PR、情報発信不足 | 5 | 3.8 |
| 地域の間関係が希薄、地域の活動を知らない | 3 | 2.3 |
| 弱者に冷たい、理解がない、孤立化 | 3 | 2.3 |
| 高齢化、若年層が少ない | 3 | 2.3 |
| 他都市と比較して劣っている、他都市と同じ | 3 | 2.3 |
| 商業施設の減少 | 2 | 1.5 |
| 施策が高齢者に偏っている | 2 | 1.5 |
| 医療体制が不十分 | 2 | 1.5 |
| 高齢者には不便、高齢化への対応が不十分 | 2 | 1.5 |
| 防災・防犯対策など安全・安心面が不十分 | 2 | 1.5 |
| 福祉にかかる手続きが煩雑、行政の対応がよくない | 2 | 1.5 |
| その他、意見等 | 20 | 15.0 |
| | 133 | 100.0 |

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

※（ ）は内数

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|-----------------------------------|--------|--------|
| 高齢者・障害者・健康増進・生涯学習施策や助成の充実、支援体制の整備 | 16 | 18.6 |
| 高齢者・介護施策 | (2) | |
| 障害者施策 | (2) | |
| バリアフリー対策の充実 | 9 | 10.5 |
| 活躍している、活躍する人・場の増加 | 8 | 9.3 |
| 介護老人福祉施設、障害者支援施設など施設の充実 | 6 | 7.0 |
| 防災対策など安全・安心面の充実 | 5 | 5.8 |
| 福祉への理解・意識の向上、やさしくなった | 5 | 5.8 |
| 検診事業、病院など医療体制の充実 | 4 | 4.7 |
| 暮らしやすい、不自由・不便さを感じない | 3 | 3.5 |
| 努力が見える | 3 | 3.5 |
| 障害者の就労場所・就労者の増加 | 2 | 2.3 |
| イベント・講座の増加 | 2 | 2.3 |
| 公共施設の利用 | 2 | 2.3 |
| その他、意見等 | 15 | 17.4 |
| 否定的な回答理由 | 6 | 7.0 |
| | 86 | 100.0 |

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|--------------------------|--------|--------|
| 雇用・企業の減少 | 6 | 17.1 |
| 弱者に冷たい、やさしさが無い | 4 | 11.4 |
| 商店街の衰退、商業施設の減少 | 3 | 8.6 |
| 市の具体的な取り組みが見えない、何もしてくれない | 3 | 8.6 |
| 所得の減少、生活の悪化、税金が高い | 3 | 8.6 |
| 人口減少 | 2 | 5.7 |
| 活気がない、発展性がない | 2 | 5.7 |
| その他、意見等 | 12 | 34.3 |
| | 35 | 100.0 |

(2) 2-2 安全で安心なまちづくり

【現在について】

「①思う」「②やや思う」

※ () は内数

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|-------------------------------------|--------|--------|
| 犯罪・事件の減少、治安がよい | 51 | 27.1 |
| 夜道も安心 | (5) | |
| 不安や危険を感じない、安心して生活できている、暮らしやすい | 33 | 17.6 |
| 防災・災害対策の充実 | 20 | 10.6 |
| 崖地・急傾斜地崩壊対策 | (7) | |
| 防災教育 | (2) | |
| 地域、自治会、ボランティアによる安全対策の充実 | 13 | 6.9 |
| 防犯パトロール | (5) | |
| 子ども見守り隊 | (2) | |
| 警察の存在、警察による巡回、自衛隊・米軍の存在 | 7 | 3.7 |
| 交通安全対策の充実、事故の減少、バリアフリー化の推進、通学路・道路整備 | 7 | 3.7 |
| 気候が温暖で災害が少ない | 6 | 3.2 |
| 地域の間関係のつながり、意識の向上、市民共助 | 6 | 3.2 |
| 他都市と比較してよい | 6 | 3.2 |
| 防犯設備、防犯体制の充実 | 3 | 1.6 |
| 街路防犯灯 | (2) | |
| 市の努力が見える、取り組みが見える | 2 | 1.1 |
| その他、意見等 | 11 | 5.9 |
| 否定的な回答理由 | 23 | 12.2 |
| | 188 | 100.0 |

「④あまり思わない」「⑤思わない」

※ () は内数

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|------------------------------------|--------|--------|
| 犯罪・事件が多い、治安が悪い、不審者がいる | 42 | 23.2 |
| 空き巣被害 | (7) | |
| 暴走族、若年層のバイク暴走、夜遊び | (7) | |
| 不審者がいる、防災メールでの不審者情報が多い | (5) | |
| 横須賀中央の治安が悪い | (2) | |
| 通学路・歩道・道路の整備が不十分、交通量が多い、交通機関の遮断 | 21 | 11.6 |
| 米軍・自衛隊基地、原子力空母、核燃料関連施設、外国からの攻撃の恐れ | 20 | 11.0 |
| 外国人、米軍人の存在、それらによる事件 | 12 | 6.6 |
| 事故が多い、交通マナーが悪い、路上駐車が多い | 12 | 6.6 |
| 山・崖・トンネルの多さや海などによる災害への不安、活断層がある | 12 | 6.6 |
| 谷戸、空き家の災害時不安 | (3) | |
| 防災・災害対策が不十分 | 10 | 5.5 |
| 崖地・急傾斜地崩壊対策が不十分 | (4) | |
| 津波対策が不十分 | (1) | |
| 警察が対応してくれない、交番に警察官がいない、警察官が少ない | 10 | 5.5 |
| 取り組みが見えない、対策状況や災害時の対応がわからない | 6 | 3.3 |
| 防犯設備、防犯体制が不十分 | 4 | 2.2 |
| 街路防犯灯が少ない、夜道が暗い | (3) | |
| 災害、事件、事故などはどこでも起こり得る | 3 | 1.7 |
| 地域関係の希薄化、地域づくりが進んでいない、転入者とのかかわりが無い | 2 | 1.1 |
| 市民のモラルの低下 | 2 | 1.1 |
| 新港町への救急医療センターの移転 | 2 | 1.1 |
| 他市と変わらない | 2 | 1.1 |
| その他、意見等 | 21 | 11.6 |
| | 181 | 100.0 |

【以前の比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

※ () は内数

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|-------------------------------------|--------|--------|
| 防災・災害対策の充実 | 21 | 19.6 |
| 崖地・急傾斜地崩壊対策 | (7) | |
| 津波・越波・海岸侵食対策、護岸整備 | (4) | |
| 配水管等耐震化 | (2) | |
| 犯罪・事件の減少、治安がよい | 16 | 15.0 |
| 交通安全対策の充実、事故の減少、バリアフリー化の推進、通学路・道路整備 | 9 | 8.4 |
| 地域、自治会、ボランティアによる安全対策の充実 | 7 | 6.5 |
| 防犯パトロール | (3) | |
| 子ども見守り隊 | (2) | |
| 地域の人間関係のつながり、意識の向上、市民共助 | 6 | 5.6 |
| 施策の充実 | 6 | 5.6 |
| 防犯設備、防犯体制の充実 | 5 | 4.7 |
| 街路防犯灯の設置 | (3) | |
| 努力が見える、取り組みが見える | 4 | 3.7 |
| 警察の存在、警察による巡回 | 2 | 1.9 |
| 米軍・自衛隊の規律保持への努力、市民の理解 | 2 | 1.9 |
| 改善されている、以前からよい | 2 | 1.9 |
| その他、意見等 | 15 | 14.0 |
| 否定的な回答理由 | 12 | 11.2 |
| | 107 | 100.0 |

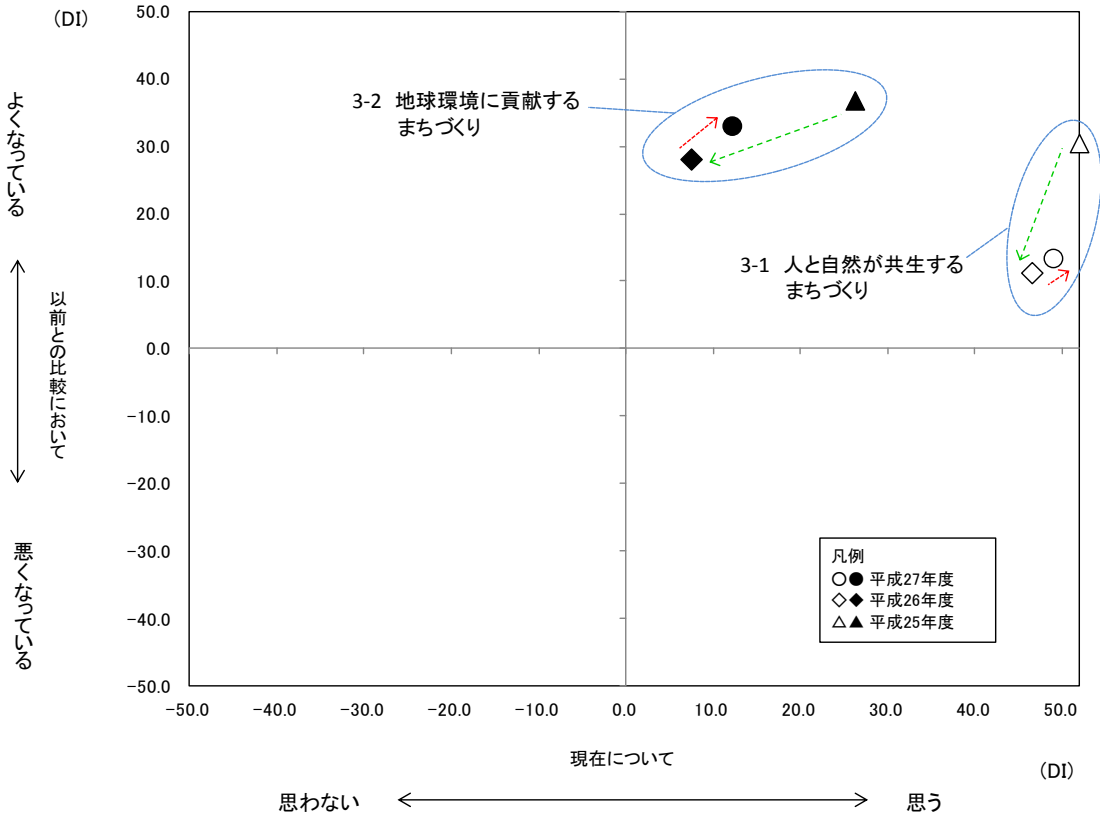
「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|--------------------------------|--------|--------|
| 犯罪・事件の増加、治安が悪い、不審者がいる | 21 | 29.6 |
| 米軍基地がある | 4 | 5.6 |
| 警察の巡回が不十分、交番に警察官がいない、横須賀警察署の移転 | 4 | 5.6 |
| 変化を感じない、以前より悪い | 4 | 5.6 |
| 通学路・道路・歩道の整備が不十分、交通量が多い | 4 | 5.6 |
| 防災・災害対策が不十分 | 3 | 4.2 |
| 事故が多い、交通マナーが悪い | 3 | 4.2 |
| 地域の人間関係の希薄化 | 3 | 4.2 |
| 新港町への救急医療センター、公共施設の移転 | 2 | 2.8 |
| 外国人の増加 | 2 | 2.8 |
| 空き家の増加、人口減少 | 2 | 2.8 |
| 山・崖・トンネルの多さなどによる災害への不安 | 2 | 2.8 |
| 全国的に悪化している | 2 | 2.8 |
| その他、意見等 | 15 | 21.1 |
| | 71 | 100.0 |

重点プログラム3 『環境を守る』
 ～人と自然が共生するまちづくり・地球環境に貢献するまちづくり～

1 取り組みの方向性の傾向

図表Ⅱ－3 重点プログラム3の取り組みの方向性の状況（H27-25年度比較）



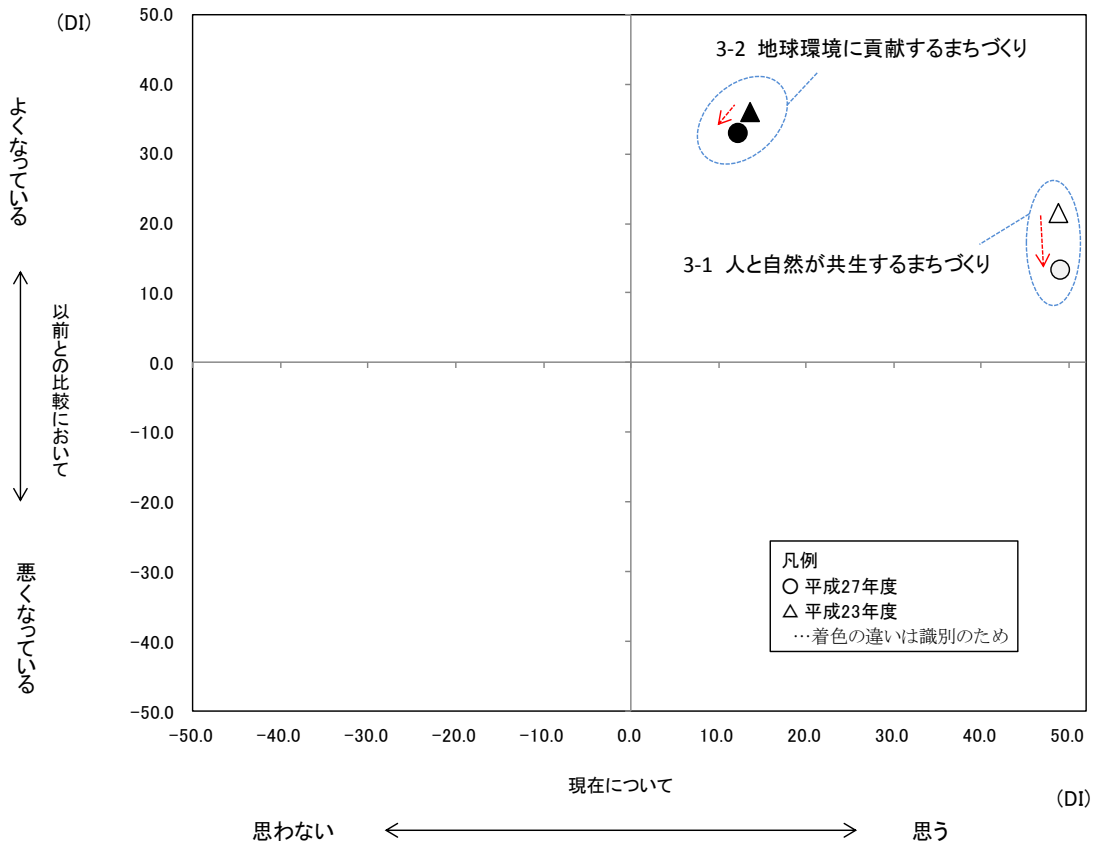
【現在について】

| 取り組みの方向性 | 調査年度 | 件数(人) | | | | | | (ポイント) | |
|-------------------------|-------------|------------|------------------|----------------|------------------------|---------------|------------|--------------|--|
| | | | ①思う+②やや思う (a) | ③どちらとも いえない | ④あまり思わない+ ⑤思わない (b) | DI (a)-(b) | 前年度比 | 27-23年度比 | |
| (3-1) 人と自然が共生するまちづくり | 27年度 | 651 | 67.4 | 14.0 | 18.5 | 48.9 | 2.4 | 0.2 | |
| | 26年度 | 667 | 66.1 | 14.2 | 19.6 | 46.5 | ▲ 5.4 | | |
| | 25年度 | 686 | 68.5 | 14.9 | 16.6 | 51.9 | 6.5 | | |
| | 24年度 | 727 | 66.0 | 13.3 | 20.6 | 45.4 | ▲ 3.3 | | |
| | 23年度 | 716 | 68.2 | 12.3 | 19.5 | 48.7 | — | | |
| (3-2) 地球環境に貢献するまちづくり | 27年度 | 549 | 40.9 | 30.2 | 28.8 | 12.1 | 4.7 | ▲ 1.4 | |
| | 26年度 | 565 | 40.3 | 26.7 | 32.9 | 7.4 | ▲ 18.8 | | |
| | 25年度 | 616 | 50.6 | 25.0 | 24.4 | 26.2 | 8.1 | | |
| | 24年度 | 650 | 45.7 | 26.8 | 27.6 | 18.1 | 4.6 | | |
| | 23年度 | 666 | 43.4 | 26.7 | 29.9 | 13.5 | — | | |

【以前との比較】

| 取り組みの方向性 | 調査年度 | 件数(人) | | | | (ポイント) | | |
|-------------------------|-------------|------------|--------------------------------------|--------------|--------------------------------------|---------------|------------|--------------|
| | | | ①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a) | ③変わって いない | ④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b) | DI (a)-(b) | 前年度比 | 27-23年度比 |
| (3-1) 人と自然が共生するまちづくり | 27年度 | 579 | 34.2 | 45.1 | 20.7 | 13.5 | 2.2 | ▲ 8.1 |
| | 26年度 | 599 | 33.5 | 44.2 | 22.2 | 11.3 | ▲ 19.2 | |
| | 25年度 | 603 | 46.6 | 37.3 | 16.1 | 30.5 | 9.2 | |
| | 24年度 | 631 | 43.3 | 34.7 | 22.0 | 21.3 | ▲ 0.3 | |
| | 23年度 | 641 | 44.1 | 33.4 | 22.5 | 21.6 | — | |
| (3-2) 地球環境に貢献するまちづくり | 27年度 | 470 | 40.7 | 51.7 | 7.6 | 33.1 | 5.0 | ▲ 3.0 |
| | 26年度 | 501 | 40.5 | 47.1 | 12.4 | 28.1 | ▲ 8.7 | |
| | 25年度 | 532 | 46.6 | 43.6 | 9.8 | 36.8 | 0.4 | |
| | 24年度 | 553 | 44.7 | 47.0 | 8.3 | 36.4 | 0.3 | |
| | 23年度 | 584 | 46.2 | 43.7 | 10.1 | 36.1 | — | |

【参考】重点プログラム3の取り組みの方向性の状況（H27-23年度比較）



(1) 3-1 人と自然が共生するまちづくり

今回調査のDIは、「現在について」「以前との比較」とともにプラスで、特に「現在について」では50ポイント近い値を示し、実感が得られている状況といえる。前年度調査からはいずれも変化が見られなかったが、「現在について」は、若干の低下はあるものの3カ年を通じて高い値で推移している。

| 現在について | | | | 以前との比較 | | | | | | | |
|-------------------------------|---|------|-------------------|-------------------------------|-----|------|-------------------|------|------|------|-----|
| DIの推移 (25年度 → 26年度 → 27年度) | | | 年度差と状況 (対26年度) | DIの推移 (25年度 → 26年度 → 27年度) | | | 年度差と状況 (対26年度) | | | | |
| 51.9 | → | 46.5 | → | 48.9 | 2.4 | 30.5 | → | 11.3 | → | 13.5 | 2.2 |
| | | | | 変化なし | | | | | 変化なし | | |

【回答理由】

◆現在について「①思う」「②やや思う」

「自然が多い、生物が多い、気候がよい、四季を感じる、空気がきれい」など本市の自然環境そのもののよさが突出して多く挙げられ、前年度調査と同様に自由記述回答者の中での割合も5割を超えている。次いで、「公園・海岸・遊歩道・散策コース等の整備」として自然を感じられる身近な環境について多く挙げられている。

◆現在について「④あまり思わない」「⑤思わない」

「自然の減少、自然破壊」が最も多く、自由記述回答者の5割を超えている。そのうち「宅地造成、道路・施設建設など開発による自然破壊・景観の悪化」が多く挙げられている。

◆以前との比較「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

「公園・海岸線・遊歩道・散歩コースの整備」が最も多く挙げられている。次いで、「自然環境の整備・保護、環境施策の増加、推進」として市の施策の充実が多く挙げられている。

◆以前との比較「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

「現在について」と同様に、「自然の減少、自然破壊」が突出して多く、自由記述回答者の7割を超えている。また、開発による自然破壊によるものが多く挙げられている。これらは前年度調査と同様の傾向である。

(回答理由分類についてはP29参照)

(2) 3-2 地球環境に貢献するまちづくり

今回調査のDIは、「現在について」「以前との比較」とともにプラスで、特に「以前との比較」では30ポイントを超える高い値を示し、実感が得られているといえる。前年度調査からも上昇傾向が見られたが、前年度調査で大幅に低下したこともあり、それを上回るほどの回復にまでは至っていない状況である。振れ幅が大きいため、今後の動向に留意する必要がある。

| 現在について | | | | 以前との比較 | | | | | | | |
|-------------------------------|---|-----|-------------------|-------------------------------|--------------------|------|-------------------|------|---|------|-----------|
| DIの推移 (25年度 → 26年度 → 27年度) | | | 年度差と状況 (対26年度) | DIの推移 (25年度 → 26年度 → 27年度) | | | 年度差と状況 (対26年度) | | | | |
| 26.2 | → | 7.4 | → | 12.1 | 4.7 大きな 変化なし | 36.8 | → | 28.1 | → | 33.1 | 5.0 上昇 |

【回答理由】

◆現在について「①思う」「②やや思う」

「分別・リサイクルの徹底、ごみの回収、ごみ処理施設の充実（アイクル）」が突出して多く挙げられているほか、ごみ・たばこのポイ捨てなど、まちなかで目につくごみの減少が挙げられている。

◆現在について「④あまり思わない」「⑤思わない」

「施策の具体的な内容が見えない、取り組みが見えない、成果が見えない」など、市の取り組みが目に見えにくいことが最も多く挙げられている。上述のようにごみの分別やリサイクルについての肯定的な回答が多い一方で、それらが日常的に当然のこととして浸透している結果とも考えられる。そのほか、「環境破壊、自然の減少、自然破壊」として、3-1と同様に開発による自然破壊について挙げられている。

◆以前との比較「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

「ごみ・たばこのポイ捨ての減少、不法投棄の減少、まちがきれい」が最も多く挙げられている。次いで、「分別・リサイクルの徹底、ごみの回収、ごみ処理施設の充実（アイクル）」が多く挙げられたほか、市の施策の充実として「EV（電気自動車）」の普及に関する記載が見られた。

◆以前との比較「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答数は少ないが、ここでも「環境破壊、自然の減少、自然破壊」として、開発によるものが挙げられている。

(回答理由分類についてはP31参照)

2 回答理由分類

(1) 3-1 人と自然が共生するまちづくり

【現在について】

「①思う」「②やや思う」

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|--------------------------------------|--------|--------|
| 自然が多い、生物が多い、気候がよい、四季を感じる、空気がきれい | 175 | 55.9 |
| 公園・海岸・遊歩道・散策コース等の整備 | 29 | 9.3 |
| 自然環境の整備・保護、緑化の推進、環境政策が進んでいる | 25 | 8.0 |
| 自然を生かした施設や取り組みが多い、イベントがある | 11 | 3.5 |
| 自然を身近に感じる・ふれあえる機会が多い | 10 | 3.2 |
| 利便性と自然の両立、首都圏でありながら自然が多い、街や住宅地と自然の調和 | 9 | 2.9 |
| まちづくりがよい、環境がよい、暮らしやすい | 9 | 2.9 |
| 地域やボランティアの清掃活動、街路樹や花壇の整備などが盛ん | 4 | 1.3 |
| 農水産業が盛ん | 4 | 1.3 |
| 適度に田舎、のどか | 4 | 1.3 |
| 地勢が恵まれている | 4 | 1.3 |
| 他都市と比較して自然が多い | 2 | 0.6 |
| ごみの分別がされている | 2 | 0.6 |
| その他、意見等 | 13 | 4.2 |
| 否定的な回答理由 | 12 | 3.8 |
| | 313 | 100.0 |

「④あまり思わない」「⑤思わない」

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|----------------------------------|--------|--------|
| 自然の減少、自然破壊 | 51 | 57.3 |
| 宅地造成、道路・施設建設など開発による自然破壊・景観の悪化 | (35) | |
| 自然とふれあえる場所や機会の減少、自然が活用されていない | 5 | 5.6 |
| 市の取り組みが不十分、手入れがされていない、放置 | 4 | 4.5 |
| 人工的 | 3 | 3.4 |
| 自然を身近に感じない | 2 | 2.2 |
| 保全が不十分、開発後の緑生がない | 2 | 2.2 |
| まちづくりや保全・活用に計画性がない、中途半端 | 2 | 2.2 |
| 施策の具体的な内容が見えない、取り組みが見えない、成果が見えない | 2 | 2.2 |
| 変化を感じない | 2 | 2.2 |
| その他、意見等 | 16 | 18.0 |
| | 89 | 100.0 |

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

※（ ）は内数

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|-------------------------------|--------|--------|
| 公園・海岸線・遊歩道・散歩コースの整備 | 25 | 26.9 |
| 自然環境の整備・保護、環境施策の増加、推進 | 19 | 20.4 |
| 海・山など自然が多い | 6 | 6.5 |
| 自然を生かした施設や取り組みが多い、イベントがある | 6 | 6.5 |
| 海・河川がきれいになった | 5 | 5.4 |
| 地域やボランティアの清掃活動、街路樹や花壇の整備などが盛ん | 4 | 4.3 |
| 市全体で努力している | 3 | 3.2 |
| 変化がない | 3 | 3.2 |
| まちなかのみどりや花の増加 | 2 | 2.2 |
| 道路がきれい | 2 | 2.2 |
| 暮らしやすい | 2 | 2.2 |
| 意識・関心の向上 | 2 | 2.2 |
| その他、意見等 | 11 | 11.8 |
| 否定的な回答理由 | 3 | 3.2 |
| | 93 | 100.0 |

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|-------------------------------|--------|--------|
| 自然の減少、自然破壊 | 70 | 71.4 |
| 宅地造成、道路・施設建設など開発による自然破壊・景観の悪化 | (43) | |
| 自然環境の保護・保全、環境施策が不十分 | 3 | 3.1 |
| 管理・手入れがされていない、放置 | 3 | 3.1 |
| 自然を身近に感じる・ふれあえる機会が少ない | 2 | 2.0 |
| 海岸などの規制が多い | 2 | 2.0 |
| ごみやたばこのポイ捨てなどマナーが悪い | 2 | 2.0 |
| 海が汚い | 2 | 2.0 |
| 消波ブロックの増加 | 2 | 2.0 |
| まちづくりや保全・活用に計画性がない、中途半端 | 2 | 2.0 |
| 公園が少ない、施設設備が未整備 | 2 | 2.0 |
| その他、意見等 | 8 | 8.2 |
| | 98 | 100.0 |

(2) 3-2 地球環境に貢献するまちづくり

【現在について】

「①思う」「②やや思う」

※ () は内数

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|-----------------------------------|--------|--------|
| 分別・リサイクルの徹底、ごみの回収、ごみ処理施設の充実(アイクル) | 62 | 41.9 |
| ごみ処理施設の建設 | (3) | |
| ごみ・たばこのポイ捨ての減少、まちの美化、ポイ捨て防止活動・啓発 | 13 | 8.8 |
| 環境施策、取り組みの充実 | 11 | 7.4 |
| 下水道事業 | (3) | |
| 小学生のアイクル見学、環境教育の充実 | 7 | 4.7 |
| 地域活動・市民活動・ボランティア活動が盛ん | 7 | 4.7 |
| 自然が多い、まちなかのみどりが多い | 7 | 4.7 |
| 市民への意識啓発、市民の意識向上 | 3 | 2.0 |
| 自然環境の整備・保護 | 3 | 2.0 |
| 事業内容を見て | 3 | 2.0 |
| 企業の協力 | 2 | 1.4 |
| 街路樹・公園の整備、植林 | 2 | 1.4 |
| その他、意見等 | 17 | 11.5 |
| 否定的な回答理由 | 11 | 7.4 |
| | 148 | 100.0 |

「④あまり思わない」「⑤思わない」

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|----------------------------------|--------|--------|
| 施策の具体的な内容が見えない、取り組みが見えない、成果が見えない | 18 | 20.5 |
| 環境破壊、自然の減少、自然破壊 | 17 | 19.3 |
| 宅地造成、埋め立て・道路・施設建設など開発による自然破壊 | (12) | |
| ごみ・たばこのポイ捨て、不法投棄、分別などマナーが悪い | 8 | 9.1 |
| 環境施策や取り組みが不十分 | 6 | 6.8 |
| 基地、原子力空母、核燃料関連施設がある | 6 | 6.8 |
| 再生可能エネルギーの利活用が進んでいない | 6 | 6.8 |
| 海や海岸線が汚い | 3 | 3.4 |
| 車が必要なまち | 2 | 2.3 |
| 目立つものがない | 2 | 2.3 |
| 努力を感じない | 2 | 2.3 |
| その他、意見等 | 17 | 19.3 |
| 肯定的な回答理由 | 1 | 1.1 |
| | 88 | 100.0 |

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

※（ ）は内数

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|-----------------------------------|--------|--------|
| ごみ・たばこのポイ捨ての減少、不法投棄の減少、まちがきれい | 21 | 23.3 |
| 分別・リサイクルの徹底、ごみの回収、ごみ処理施設の充実（アィクル） | 18 | 20.0 |
| ごみ処理施設の建設 | (3) | |
| 環境施策、取り組みの充実 | 13 | 14.4 |
| EV（電気自動車） | (9) | |
| 意識啓発、市民の意識向上 | 5 | 5.6 |
| 地域活動やボランティア活動が盛ん | 5 | 5.6 |
| 自然環境の整備・保護、緑化 | 5 | 5.6 |
| 海・河川がきれい | 3 | 3.3 |
| 環境教育の充実 | 2 | 2.2 |
| 公園・遊歩道の整備 | 2 | 2.2 |
| その他、意見等 | 15 | 16.7 |
| 否定的な回答理由 | 1 | 1.1 |
| | 90 | 100.0 |

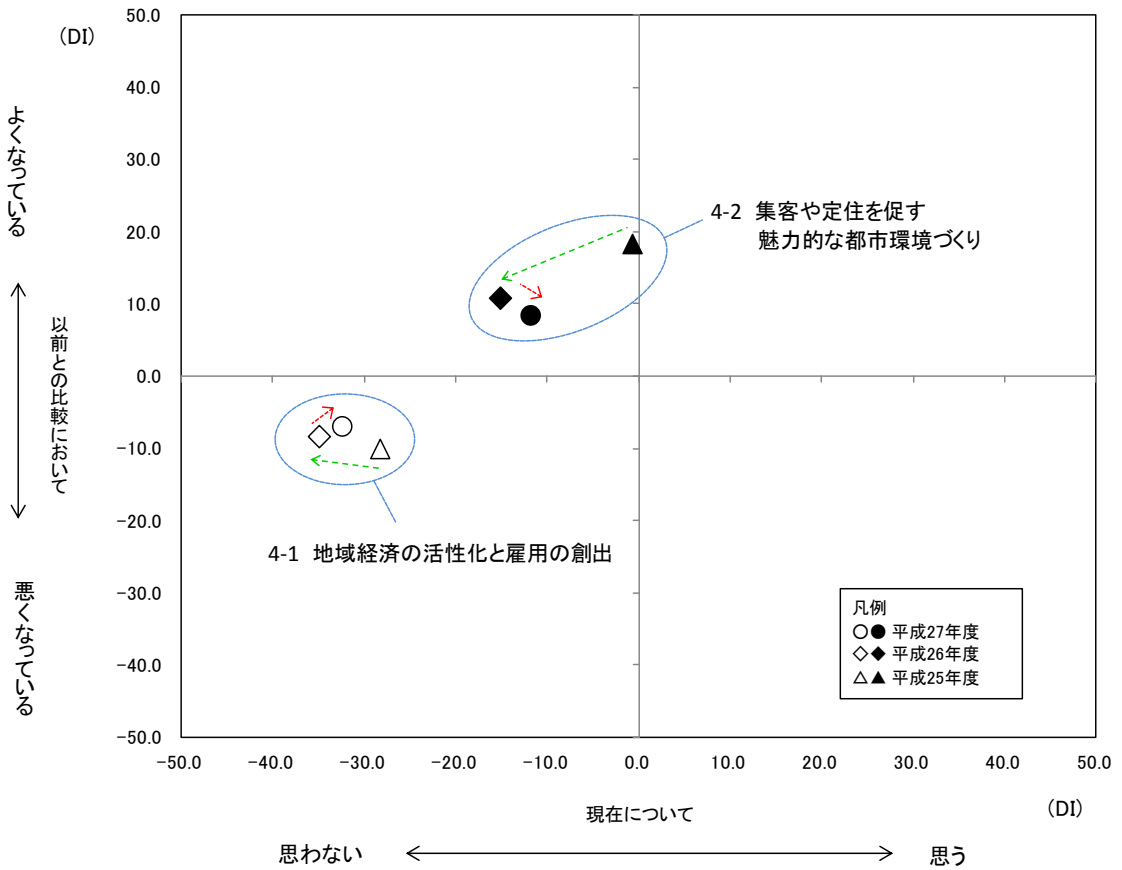
「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|-------------------------|--------|--------|
| 環境破壊、自然の減少、自然破壊 | 11 | 50.0 |
| 宅地造成、道路・施設建設など開発による自然破壊 | (7) | |
| 車が必要なまち、車の排出ガス | 2 | 9.1 |
| 市民の意識が低い | 2 | 9.1 |
| その他、意見等 | 7 | 31.8 |
| | 22 | 100.0 |

重点プログラム4 『にぎわいを生む』
～地域経済の活性化と雇用の創出・集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり～

1 取り組みの方向性の傾向

図表Ⅱ－4 重点プログラム4の取り組みの方向性の状況（H27-25年度比較）



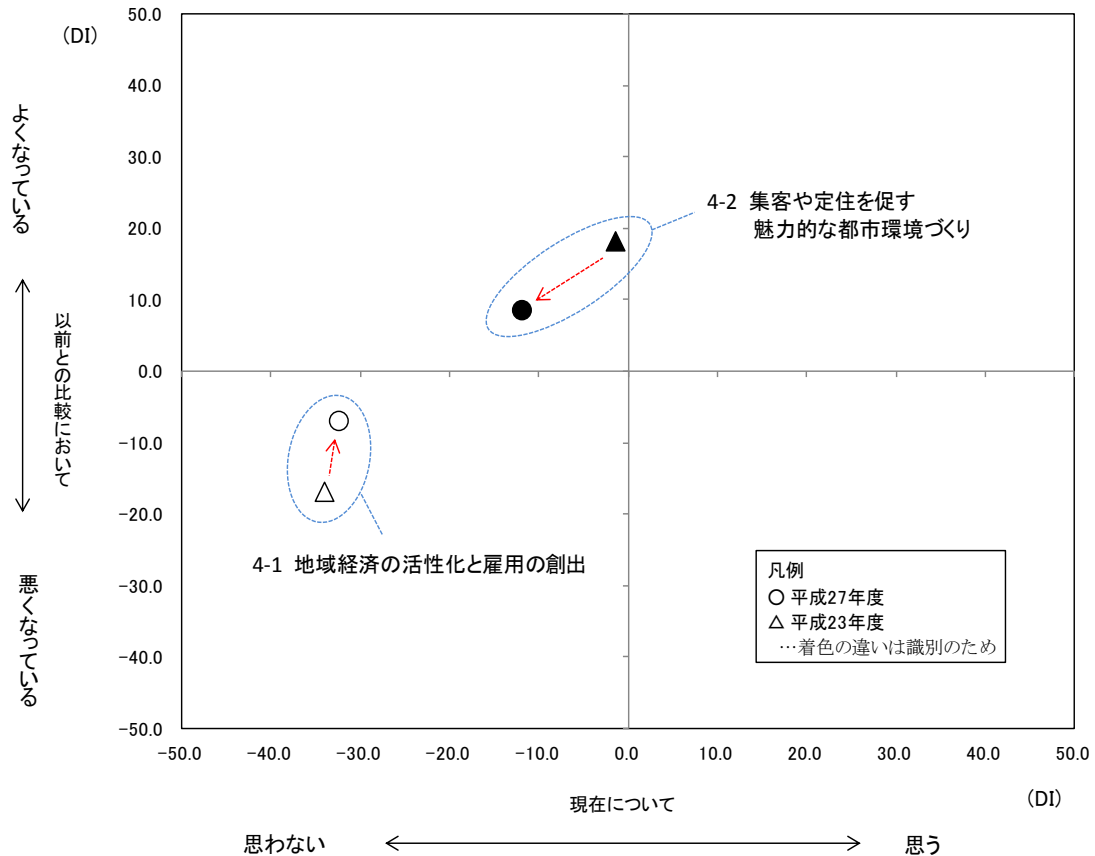
【現在について】

| 取り組みの方向性 | 調査年度 | 件数(人) | (ポイント) | | | | | |
|----------------------------------|-------------|------------|------------------|----------------|------------------------|---------------|------------|---------------|
| | | | ①思う+②やや思う (a) | ③どちらとも いえない | ④あまり思わない+ ⑤思わない (b) | DI (a)-(b) | 前年度比 | 27-23年度比 |
| (4-1) 地域経済の活性化と雇用の創出 | 27年度 | 600 | 24.0 | 19.5 | 56.5 | ▲ 32.5 | 2.5 | 1.6 |
| | 26年度 | 581 | 21.2 | 22.5 | 56.2 | ▲ 35.0 | ▲ 6.7 | |
| | 25年度 | 628 | 24.4 | 22.9 | 52.7 | ▲ 28.3 | 4.0 | |
| | 24年度 | 668 | 21.2 | 25.3 | 53.5 | ▲ 32.3 | 1.8 | |
| | 23年度 | 653 | 20.2 | 25.6 | 54.3 | ▲ 34.1 | — | |
| (4-2) 集客や定住を促す魅力的な 都市環境づくり | 27年度 | 634 | 32.4 | 23.3 | 44.3 | ▲ 11.9 | 3.3 | ▲ 10.4 |
| | 26年度 | 625 | 30.2 | 24.3 | 45.4 | ▲ 15.2 | ▲ 14.4 | |
| | 25年度 | 657 | 37.1 | 25.0 | 37.9 | ▲ 0.8 | 4.3 | |
| | 24年度 | 686 | 33.8 | 27.3 | 38.9 | ▲ 5.1 | ▲ 3.6 | |
| | 23年度 | 685 | 37.0 | 24.5 | 38.5 | ▲ 1.5 | — | |

【以前の比較】

| 取り組みの方向性 | 調査年度 | 件数(人) | (ポイント) | | | | | |
|----------------------------------|-------------|------------|--------------------------------------|--------------|--------------------------------------|---------------|--------------|--------------|
| | | | ①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a) | ③変わって いない | ④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b) | DI (a)-(b) | 前年度比 | 27-23年度比 |
| (4-1) 地域経済の活性化と雇用の創出 | 27年度 | 524 | 27.4 | 38.2 | 34.3 | ▲ 6.9 | 1.4 | 9.9 |
| | 26年度 | 519 | 26.4 | 38.9 | 34.7 | ▲ 8.3 | 1.7 | |
| | 25年度 | 557 | 25.9 | 38.2 | 35.9 | ▲ 10.0 | 2.9 | |
| | 24年度 | 577 | 24.8 | 37.4 | 37.7 | ▲ 12.9 | 3.9 | |
| | 23年度 | 595 | 22.2 | 38.8 | 39.0 | ▲ 16.8 | — | |
| (4-2) 集客や定住を促す魅力的な 都市環境づくり | 27年度 | 540 | 33.1 | 42.2 | 24.6 | 8.5 | ▲ 2.4 | ▲ 9.8 |
| | 26年度 | 557 | 33.3 | 44.3 | 22.4 | 10.9 | ▲ 7.5 | |
| | 25年度 | 581 | 38.9 | 40.6 | 20.5 | 18.4 | 2.5 | |
| | 24年度 | 598 | 35.8 | 44.3 | 19.9 | 15.9 | ▲ 2.4 | |
| | 23年度 | 609 | 38.0 | 42.4 | 19.7 | 18.3 | — | |

【参考】重点プログラム4の取り組みの方向性の状況（H27-23年度比較）



(1) 4-1 地域経済の活性化と雇用の創出

今回調査のDIは、「現在について」「以前との比較」とともにマイナスとなっている。特に「現在について」はマイナスが大きく、前年度調査からの変化も見られなかった。3カ年のDIは、全ての取り組みの方向性の中で最も低く、依然として実感が得られていない状況が続いている。

| 現在について | | 以前との比較 | |
|-------------------------------|-------------------|-------------------------------|-------------------|
| DIの推移 (25年度 → 26年度 → 27年度) | 年度差と状況 (対26年度) | DIの推移 (25年度 → 26年度 → 27年度) | 年度差と状況 (対26年度) |
| ▲ 28.3 → ▲ 35.0 → ▲ 32.5 | 2.5 変化なし | ▲ 10.0 → ▲ 8.3 → ▲ 6.9 | 1.4 変化なし |

【回答理由】

◆現在について「①思う」「②やや思う」

「イベントや土産物など観光事業の充実、観光客の増加」が最も多く挙げられ、「軍港めぐり」「イベントの開催」などについての記載が見られた。ほかに、「地域経済の活性化、商業施設、大型商業施設の増加」や、市の施策の充実として、「地産地消、よこすかポートマーケット、すかなごっそ」「企業誘致」などが挙げられた。

◆現在について「④あまり思わない」「⑤思わない」

「働く場や求人が少ない、低賃金、労働力人口の流出」「企業が少ない、企業・工場の転出・撤退、産業の衰退」など雇用情勢等の厳しさや産業の衰退のほか、市の施策に対する不足感として「企業誘致、産業の創出」などの記載が見られた。ほかに、横須賀中央など中心市街地のにぎわいのなさや、商業を中心とした地域経済の衰退も多く挙げられた。

◆以前との比較「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

「現在について」と同様に、観光事業や市の施策の充実が多く挙げられ、イベントや地産地消等に対する印象がよいことがうかがえる。これは前年度調査と同様の傾向である。

◆以前との比較「④どちらかというよくなっている」「⑤悪くなっている」

企業の減少や産業の衰退について最も多く挙げられたほか、商業を中心とした地域経済の衰退、雇用の減少、中心市街地のにぎわいのなさなど、多寡の違いはあるものの「現在について」と同様の理由が多く挙げられている。

(回答理由分類についてはP37参照)

(2) 4-2 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり

今回調査のDIは、「現在について」でマイナスとなったが、「以前との比較」ではプラス値を維持している。しかし、前年度調査からはいずれも大きな変化は見られず、特に「現在について」では▲10ポイントを下回る値が続き、現状に対して実感が得られているとはいえない状況である。

| 現在について | | 以前との比較 | |
|-------------------------------|--------------------|-------------------------------|-------------------|
| DIの推移 (25年度 → 26年度 → 27年度) | 年度差と状況 (対26年度) | DIの推移 (25年度 → 26年度 → 27年度) | 年度差と状況 (対26年度) |
| ▲ 0.8 → ▲ 15.2 → ▲ 11.9 | 3.3 大きな 変化なし | 18.4 → 10.9 → 8.5 | ▲ 2.4 変化なし |

【回答理由】

◆現在について「①思う」「②やや思う」

4-1と同様に、「イベントや土産物など観光事業の充実、観光客の増加」が突出して多く挙げられている。ほかに、市の施策の充実や「マンションの建設」などが挙げられている。

◆現在について「④あまり思わない」「⑤思わない」

「階段・坂が多い、道路整備が不十分、交通利便性が低い」として、坂などが多いことや道路網などによる不便さのほか、バスなどの公共交通の不便さについての記載が見られた。ほかに「人口減少・人口流出、少子高齢化、若年層の減少・流出」が多く挙げられており、平成26年1月に総務省が出した平成25年(2013年)の人口移動報告(転出超過)についての記載も見られた。

◆以前との比較「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

「現在について」と同様に、「イベントや土産物など観光事業の充実、観光客の増加」が多く挙げられたほか、PRなどメディアによる露出の増加などによる回答も見られた。

◆以前との比較「④どちらかというよくなっている」「⑤悪くなっている」

「人口減少・人口流出、少子高齢化、若年層の減少」のほか、中心市街地の様子や商業を中心とした地域経済の衰退が挙げられている。

(回答理由分類についてはP39参照)

2 回答理由分類

(1) 4-1 地域経済の活性化と雇用の創出

【現在について】

「①思う」「②やや思う」

※ () は内数

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|--------------------------|--------|--------|
| イベントや土産物など観光事業の充実、観光客の増加 | 34 | 33.0 |
| 軍港めぐり | (7) | |
| イベントの開催 | (7) | |
| 海軍カレー | (3) | |
| YYポート横須賀 | (3) | |
| 地域経済の活性化、商業施設、大型商業施設の増加 | 16 | 15.5 |
| 施策の充実 | 13 | 12.6 |
| 地産地消、よこすかポートマーケット、すかなごっそ | (8) | |
| 企業誘致 | (2) | |
| 雇用の増加 | 5 | 4.9 |
| 努力が見える | 5 | 4.9 |
| 横須賀中央や平成町などの開発 | 4 | 3.9 |
| YRPがある | 3 | 2.9 |
| 事業内容を見て | 3 | 2.9 |
| 基地の活用 | 2 | 1.9 |
| その他、意見等 | 9 | 8.7 |
| 否定的な回答理由 | 9 | 8.7 |
| | 103 | 100.0 |

「④あまり思わない」「⑤思わない」

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|------------------------------------|--------|--------|
| 働く場や求人が少ない、低賃金、労働力人口の流出 | 60 | 25.9 |
| 企業が少なく、企業・工場の転出・撤退、産業の衰退 | 34 | 14.7 |
| 施策が不十分、特色や面白みがない | 33 | 14.2 |
| 企業誘致、産業の創出 | (14) | |
| 雇用対策 | (5) | |
| 中小企業への支援 | (2) | |
| 商業振興 | (2) | |
| 中心市街地ににぎわいや活気を感じない | 17 | 7.3 |
| 商店街に活気がない、空き店舗の増加 | 16 | 6.9 |
| 人口減少・人口流出 | 13 | 5.6 |
| 大型商業施設の減少、買い物客等の市外への流出、魅力ある商業施設がない | 12 | 5.2 |
| 車でしか行けない郊外型大型商業施設しかない | (3) | |
| 地域経済が活性化していない | 12 | 5.2 |
| 基地の活用が少ない | 3 | 1.3 |
| 他都市と比較して劣る、遅い | 3 | 1.3 |
| 観光業が弱い | 3 | 1.3 |
| 経済の悪化、不景気 | 3 | 1.3 |
| 取り組みが見えない、実行性がない | 2 | 0.9 |
| 地域差がある | 2 | 0.9 |
| 交通利便性が低い、渋滞 | 2 | 0.9 |
| その他、意見等 | 17 | 7.3 |
| | 232 | 100.0 |

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

※（ ）は内数

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|-------------------------------------|--------|--------|
| イベントや土産物など観光事業の充実、観光できる場所の増加、観光客の増加 | 24 | 26.7 |
| イベントの開催 | (9) | |
| 施設の増加 | (3) | |
| 海軍カレー | (2) | |
| 施策の充実 | 16 | 17.8 |
| 地産地消、よこすかポートマーケット、すかなごっそ | (8) | |
| 雇用の増加 | 10 | 11.1 |
| 地域経済の活性化、商業施設の増加 | 9 | 10.0 |
| 平成町の開発 | 5 | 5.6 |
| テレビなどメディアで取り上げられる、知名度の上昇 | 4 | 4.4 |
| 努力が見える | 4 | 4.4 |
| 中心市街地の活性化 | 2 | 2.2 |
| その他、意見等 | 7 | 7.8 |
| 否定的な回答理由 | 9 | 10.0 |
| | 90 | 100.0 |

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|-----------------------------------|--------|--------|
| 企業が少ない、企業・工場の撤退、産業の衰退 | 24 | 21.2 |
| 商店街に活気がない、空き店舗の増加、個店の減少 | 17 | 15.0 |
| 大型商業施設の開店による個店の減少 | (4) | |
| 雇用の減少、求人が少ない、労働力人口の流出、低賃金 | 16 | 14.2 |
| 中心市街地のにぎわいや活気を感じない、開発が進まない | 11 | 9.7 |
| 大型商業施設の減少、郊外型大型商業施設ばかり、買い物客等の市外流出 | 11 | 9.7 |
| 人口減少・人口流出 | 8 | 7.1 |
| 施策が不十分 | 7 | 6.2 |
| 雇用対策、企業誘致 | (6) | |
| 経済が活性化していない、悪化 | 4 | 3.5 |
| その他、意見等 | 15 | 13.3 |
| | 113 | 100.0 |

(2) 4-2 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり

【現在について】

「①思う」「②やや思う」

※ () は内数

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|--------------------------------|--------|--------|
| イベントや土産物など観光事業の充実、観光客の増加 | 39 | 27.9 |
| イベントの開催 | (16) | |
| 軍港めぐり | (2) | |
| 施策の充実 | 15 | 10.7 |
| 谷戸・空き家対策 | (6) | |
| マンションの建設 | 12 | 8.6 |
| PRの向上、テレビなどメディアで取り上げられる | 7 | 5.0 |
| 大型商業施設の増加、商業施設の充実 | 7 | 5.0 |
| 住みやすい | 6 | 4.3 |
| 観光・レジャーができる自然・施設・名所がある、観光資源が豊富 | 6 | 4.3 |
| 努力が見える | 5 | 3.6 |
| 横須賀が好き、定住したいと思う | 4 | 2.9 |
| 都市部に近い、交通利便性が高い | 3 | 2.1 |
| 豊かな自然環境 | 3 | 2.1 |
| 中心市街地の活性化 | 2 | 1.4 |
| その他、意見等 | 15 | 10.7 |
| 否定的な回答理由 | 16 | 11.4 |
| | 140 | 100.0 |

「④あまり思わない」「⑤思わない」

※（ ）は内数

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|------------------------------------|--------|--------|
| 階段・坂が多い、道路整備が不十分、交通利便性が低い | 25 | 13.4 |
| 公共交通が不便 | (8) | |
| 都市部から遠い | (2) | |
| 高齢者は住みにくい | (2) | |
| 人口減少・人口流出、少子高齢化、若年層の減少・流出 | 23 | 12.3 |
| 施策が不十分、新しさが無い | 18 | 9.6 |
| 集客、観光などの施策が不十分、集客できていない | (8) | |
| 定住施策が不十分 | (2) | |
| 大型商業施設が少ない、魅力的な商業施設がない、買い物客等の市外流出 | 17 | 9.1 |
| 魅力がない | 14 | 7.5 |
| 他都市と比較して魅力がない・劣る | (4) | |
| 定住を促す魅力的な要素がない | (2) | |
| 魅力的な観光資源・施設が少ない | 8 | 4.3 |
| 雇用・企業の減少 | 7 | 3.7 |
| 生活利便性が低い | 6 | 3.2 |
| 商店街に活気がない、空き店舗の増加、個店の減少 | 6 | 3.2 |
| PR不足 | 6 | 3.2 |
| 施策の具体的な内容が見えない、取り組みが見えない、成果が見えない | 6 | 3.2 |
| 税金が高い、物価が高い | 5 | 2.7 |
| 公園・子どもの遊び場など子育て施設が不十分 | 4 | 2.1 |
| 中心市街地に活気がない | 3 | 1.6 |
| 地域差がある、一部地域（新住宅地周辺など）しか開発・環境整備されない | 3 | 1.6 |
| 空き家が多い | 3 | 1.6 |
| 基地の存在、マイナスイメージ | 3 | 1.6 |
| 地域の人間関係がよくない | 2 | 1.1 |
| 集客が定住につながると思わない | 2 | 1.1 |
| 変化を感じない、後退している | 2 | 1.1 |
| その他、意見等 | 24 | 12.8 |
| | 187 | 100.0 |

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」 ※ () は内数

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|---------------------------------|--------|--------|
| イベントや土産物など観光事業の充実、観光客の増加 | 25 | 27.8 |
| イベントの開催 | (7) | |
| PRの向上、イメージの向上、テレビなどメディアで取り上げられる | 8 | 8.9 |
| 施策の充実 | 6 | 6.7 |
| 谷戸・空き家対策 | (2) | |
| 道路整備、交通利便性の向上 | 6 | 6.7 |
| 観光・レジャーができる施設の増加 | 4 | 4.4 |
| マンション、住宅地の開発が進んでいる | 3 | 3.3 |
| 大型商業施設の増加 | 3 | 3.3 |
| 住みやすい | 2 | 2.2 |
| 努力が見える | 2 | 2.2 |
| その他、意見等 | 22 | 24.4 |
| 否定的な回答理由 | 9 | 10.0 |
| | 90 | 100.0 |

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|------------------------------------|--------|--------|
| 人口減少・人口流出、少子高齢化、若年層の減少 | 26 | 30.2 |
| 中心市街地に活気がない | 9 | 10.5 |
| 大型商業施設の減少、魅力的な商業施設がない | 6 | 7.0 |
| 商店街に活気がない、空き店舗の増加、個店の減少 | 6 | 7.0 |
| 施策が不十分 | 5 | 5.8 |
| 定住施策が不十分 | (3) | |
| 雇用・企業の減少 | 4 | 4.7 |
| 地域差がある、一部地域（新住宅地周辺など）しか開発・環境整備されない | 3 | 3.5 |
| 道路整備が不十分、交通利便性が低い | 3 | 3.5 |
| 空き家が多い | 3 | 3.5 |
| 魅力がない | 2 | 2.3 |
| 生活利便性が低い | 2 | 2.3 |
| PR不足 | 2 | 2.3 |
| その他、意見等 | 15 | 17.4 |
| | 86 | 100.0 |

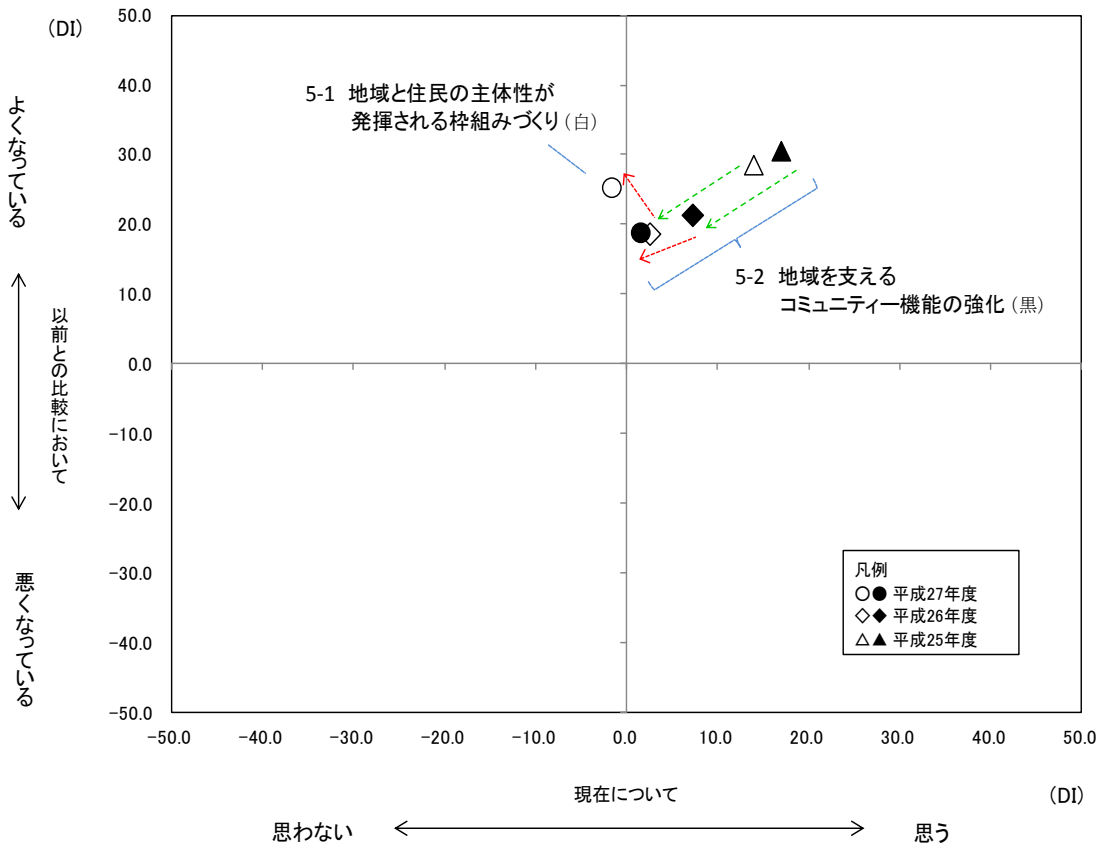
重点プログラム5 『地域力を育む』

～地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり・

地域を支えるコミュニティー機能の強化～

1 取り組みの方向性の傾向

図表Ⅱ-5 重点プログラム5の取り組みの方向性の状況（H27-25年度比較）



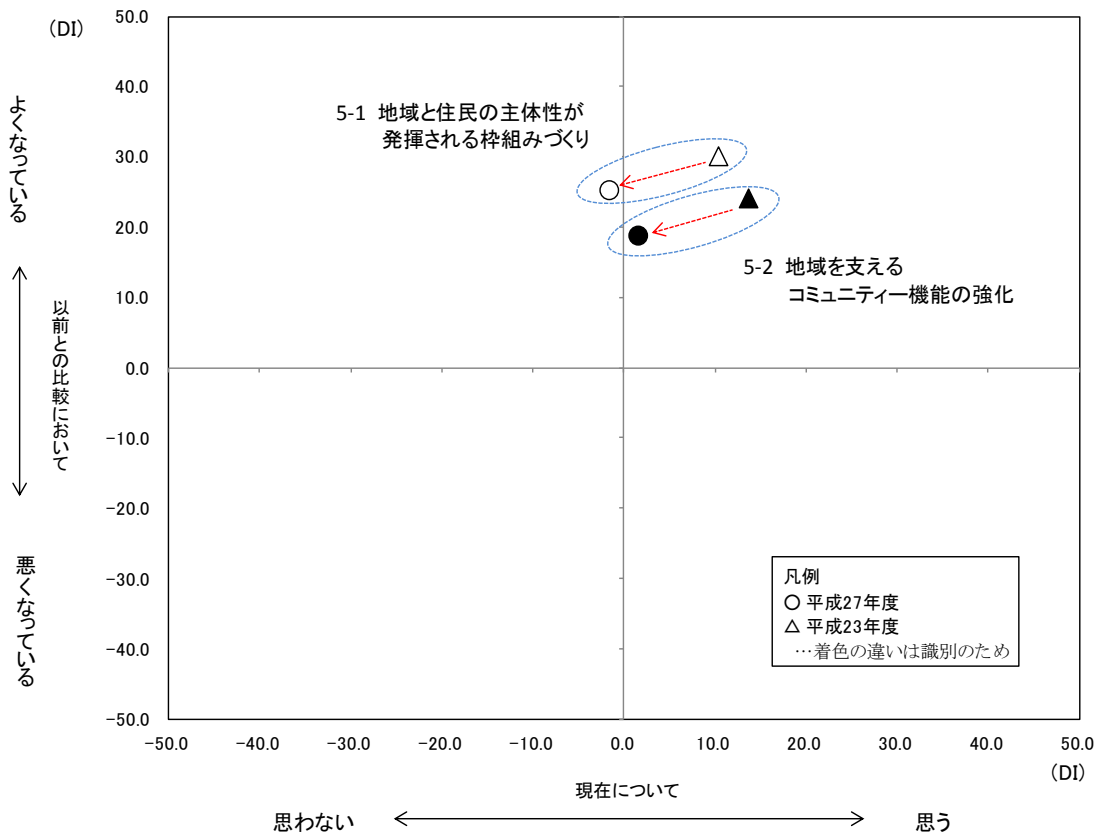
【現在について】

| 取り組みの方向性 | 調査年度 | 件数(人) | (ポイント) | | | | | 前年度比 | 27-23年度比 |
|------------------------------------|-------------|------------|------------------|----------------|------------------------|---------------|--------------|---------------|----------|
| | | | ①思う+②やや思う (a) | ③どちらとも いえない | ④あまり思わない+ ⑤思わない (b) | DI (a)-(b) | | | |
| (5-1) 地域と住民の主体性が発揮される 枠組みづくり | 27年度 | 501 | 34.7 | 28.9 | 36.4 | ▲ 1.7 | ▲ 4.2 | ▲ 12.0 | |
| | 26年度 | 499 | 35.3 | 31.9 | 32.8 | 2.5 | ▲ 11.4 | | |
| | 25年度 | 578 | 41.9 | 30.1 | 28.0 | 13.9 | 3.8 | | |
| | 24年度 | 597 | 39.9 | 30.3 | 29.8 | 10.1 | ▲ 0.2 | | |
| | 23年度 | 599 | 40.8 | 28.7 | 30.5 | 10.3 | — | | |
| (5-2) 地域を支えるコミュニティ機能の 強化 | 27年度 | 541 | 37.4 | 26.8 | 35.9 | 1.5 | ▲ 5.7 | ▲ 12.1 | |
| | 26年度 | 521 | 40.3 | 26.7 | 33.1 | 7.2 | ▲ 9.7 | | |
| | 25年度 | 591 | 44.0 | 28.9 | 27.1 | 16.9 | 9.8 | | |
| | 24年度 | 625 | 39.8 | 27.5 | 32.7 | 7.1 | ▲ 6.5 | | |
| | 23年度 | 630 | 42.0 | 29.5 | 28.4 | 13.6 | — | | |

【以前との比較】

| 取り組みの方向性 | 調査年度 | 件数(人) | (ポイント) | | | | | 前年度比 | 27-23年度比 |
|------------------------------------|-------------|------------|--------------------------------------|--------------|--------------------------------------|---------------|--------------|--------------|----------|
| | | | ①よくなっている+ ②どちらかという よくなっている (a) | ③変わっ ていない | ④どちらかという 悪くなっている+ ⑤悪くなっている (b) | DI (a)-(b) | | | |
| (5-1) 地域と住民の主体性が発揮される 枠組みづくり | 27年度 | 410 | 36.4 | 52.7 | 11.0 | 25.4 | 6.7 | ▲ 4.8 | |
| | 26年度 | 432 | 34.0 | 50.7 | 15.3 | 18.7 | ▲ 9.9 | | |
| | 25年度 | 502 | 38.0 | 52.6 | 9.4 | 28.6 | ▲ 0.6 | | |
| | 24年度 | 514 | 38.7 | 51.8 | 9.5 | 29.2 | ▲ 1.0 | | |
| | 23年度 | 516 | 39.1 | 51.9 | 8.9 | 30.2 | — | | |
| (5-2) 地域を支えるコミュニティ機能の 強化 | 27年度 | 451 | 34.4 | 50.1 | 15.5 | 18.9 | ▲ 2.5 | ▲ 5.3 | |
| | 26年度 | 452 | 34.2 | 52.9 | 12.8 | 21.4 | ▲ 9.2 | | |
| | 25年度 | 498 | 41.4 | 47.8 | 10.8 | 30.6 | 2.1 | | |
| | 24年度 | 532 | 39.8 | 48.9 | 11.3 | 28.5 | 4.3 | | |
| | 23年度 | 536 | 36.2 | 51.9 | 12.0 | 24.2 | — | | |

【参考】 重点プログラム5の取り組みの方向性の状況（H27-23年度比較）



(1) 5-1 地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり

今回調査のDIは、「現在について」でマイナスに転じた。一方、「以前との比較」では約25ポイントのプラス値で前年度調査からも上昇している。「現在について」は3カ年で約15ポイントの減少となっており、今後の動向に留意が必要である。

| 現在について | | | 以前との比較 | | | | |
|-------------------------------|---|-------------|----------------------|-------------------------------|---|-------------------|-----------|
| DIの推移 (25年度 → 26年度 → 27年度) | | | 年度差と状況 (対26年度) | DIの推移 (25年度 → 26年度 → 27年度) | | 年度差と状況 (対26年度) | |
| 13.9 | → | 2.5 → ▲ 1.7 | ▲ 4.2 大きな 変化なし | 28.6 | → | 18.7 → 25.4 | 6.7 上昇 |

【回答理由】

◆現在について「①思う」「②やや思う」

「町内会・自治会、地域活動が盛ん」が突出して多く、自由記述回答者の中での割合も5割を超えている。特に「子ども見守り隊」についての記載が多く見られる。

◆現在について「④あまり思わない」「⑤思わない」

「高齢化と活動の衰退、若年層の参加がない、担い手不足、核になる人材がない」など少子高齢化等に伴う影響がうかがえる回答が多く見られる。また、活動が平日に行われ、単身・子育て世帯や就労者、市外への通勤者等は参加できない状況となっていることを指摘する回答が見られた。

◆以前との比較「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

回答数は多くないが、「現在について」と同様に、「町内会・自治会、地域活動が盛ん」が多く挙げられている。

◆以前との比較「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

回答数は少ないが、少子高齢化や人口減少により活動規模が縮小し、取り組みの方向性で掲げている「主体性の発揮」は困難とする回答が見られる。

(回答理由分類についてはP47参照)

(2) 5-2 地域を支えるコミュニティ機能の強化

今回調査のDIは、「現在について」「以前との比較」ともにプラスとなっているが、「現在について」の値は小さく、前年度調査との比較でも低下が見られた。また、3カ年で「現在について」「以前との比較」いずれも10ポイント以上減少しており、動向に留意する必要がある。

| 現在について | | | | 以前との比較 | | | | | | | |
|-------------------------------|---|-----|-------------------|-------------------------------|-------|------|-------------------|------|------|------|-------|
| DIの推移 (25年度 → 26年度 → 27年度) | | | 年度差と状況 (対26年度) | DIの推移 (25年度 → 26年度 → 27年度) | | | 年度差と状況 (対26年度) | | | | |
| 16.9 | → | 7.2 | → | 1.5 | ▲ 5.7 | 30.6 | → | 21.4 | → | 18.9 | ▲ 2.5 |
| | | | | 低下 | | | | | 変化なし | | |

【回答理由】

◆現在について「①思う」「②やや思う」

5-1と同様に、「町内会・自治会、地域活動が盛ん」が突出して多く挙げられている。ほかに、「コミュニティセンター（行政センター）等施設の利用者の増加、講座等の開催」など、活動の場についての回答や、活動参加者の増加などについての回答が多く見られる。

◆現在について「④あまり思わない」「⑤思わない」

「高齢化と活動の衰退、若年層がいない、世代間格差、核になる人材がいない」「地域の人間関係が希薄、無関心、他人任せ」など、人口減少、少子高齢化等に伴う影響や、地域の人間関係の希薄化がうかがえる回答が多く見られた。また、上述のように肯定的な回答割合で多く挙げられたコミュニティセンター等の施設について、住環境や交通手段による利用のしにくさ、気軽に利用できないなどの回答も見られた。また、5-1と同様に、活動が平日に行われることで参加できないなどの回答も見られた。

◆以前との比較「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

回答数は多くないが、「現在について」と同様に、「町内会・自治会、地域活動が盛ん」が最も多く挙げられている。

◆以前との比較「④どちらかというよくなっている」「⑤よくなっている」

回答数は少ないが、「現在について」と同様に、人口減少、少子高齢化等に伴う影響や、地域の人間関係の希薄化がうかがえる回答が挙げられている。

(回答理由分類についてはP49参照)

2 回答理由分類

(1) 5-1 地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり

【現在について】

「①思う」「②やや思う」

※ () は内数

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|--------------------------|--------|--------|
| 町内会・自治会、地域活動が盛ん | 57 | 56.4 |
| 子ども見守り隊 | (18) | |
| クリーン活動 | (4) | |
| 地域のイベントがある | 8 | 7.9 |
| 自主的に取り組んでいる、市民・地域が努力している | 6 | 5.9 |
| 市と地域の連携 | 3 | 3.0 |
| コミュニティセンター等の施設利用 | 3 | 3.0 |
| 住民の連携がよい、地域の間関係がよい | 2 | 2.0 |
| 自治基本条例の検討 | 2 | 2.0 |
| 行政の対応がよい、努力が見える | 2 | 2.0 |
| 事業を見て | 2 | 2.0 |
| その他、意見等 | 10 | 9.9 |
| 否定的な回答理由 | 6 | 5.9 |
| | 101 | 100.0 |

「④あまり思わない」「⑤思わない」

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|--------------------------------------|--------|--------|
| 高齢化と活動の衰退、若年層の参加がない、担い手不足、核になる人材がない | 13 | 14.4 |
| 施策の具体的な内容が見えない、取り組みが見えない | 12 | 13.3 |
| 行政主導、市民の声が市政に反映されない、どう反映されているかわからない | 8 | 8.9 |
| 活性化しない、前例踏襲で活動内容に変化がない | 6 | 6.7 |
| 地域の間関係が希薄、無関心、他人任せ | 6 | 6.7 |
| 市からの積極的な働きかけがない、市と地域の連携がない | 5 | 5.6 |
| 一部の人のみ、町内会・自治会と住民の距離が遠い | 5 | 5.6 |
| 伝わってこない、活動を知らない、知らないから参加できない | 4 | 4.4 |
| 地域住民の調和がない、排他的、新しい住民の立場が弱い | 4 | 4.4 |
| 平日日中の活動が多い、単身・子育て世帯や就労者等の生活パターンに合わない | 4 | 4.4 |
| 施策が不十分 | 4 | 4.4 |
| 町内会加入者の減少、名簿のみの参加、輪番制 | 3 | 3.3 |
| 市の努力不足、意識が低い | 2 | 2.2 |
| 基地に依存している | 2 | 2.2 |
| その他、意見等 | 12 | 13.3 |
| | 90 | 100.0 |

【以前の比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

※（ ）は内数

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|------------------------|--------|--------|
| 町内会・自治会、地域活動が盛ん | 28 | 47.5 |
| 子ども見守り隊 | (10) | |
| クリーン活動 | (3) | |
| 施策の充実 | 3 | 5.1 |
| 補助金の支給 | (2) | |
| 住民の連携がよい、コミュニケーションの増加 | 3 | 5.1 |
| 高齢者の活躍の場がある、高齢者が活躍している | 3 | 5.1 |
| 市民意識の向上 | 3 | 5.1 |
| 地域のイベントがある | 2 | 3.4 |
| 以前から進められている | 2 | 3.4 |
| その他、意見等 | 10 | 16.9 |
| 否定的な回答理由 | 5 | 8.5 |
| | 59 | 100.0 |

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|--------------------------------------|--------|--------|
| 少子高齢化・人口減少で主体性が発揮しづらい | 4 | 14.3 |
| 高齢化と活動の衰退、若年層・子どもの減少 | 3 | 10.7 |
| 地域の間関係が希薄、他人任せ | 3 | 10.7 |
| 地域のイベントの縮小 | 2 | 7.1 |
| 町内会加入者の減少、地域活動参加者の減少 | 2 | 7.1 |
| 平日日中の活動が多い、単身・子育て世帯や就労者等の生活パターンに合わない | 2 | 7.1 |
| その他、意見等 | 12 | 42.9 |
| | 28 | 100.0 |

(2) 5-2 地域を支えるコミュニティ機能の強化

【現在について】

「①思う」「②やや思う」

※ () は内数

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|-------------------------------------|--------|--------|
| 町内会・自治会、地域活動が盛ん | 42 | 40.0 |
| 子ども見守り隊 | (6) | |
| 自主防災訓練 | (2) | |
| ラジオ体操 | (2) | |
| コミュニティセンター(行政センター)等施設の利用者の増加、講座等の開催 | 20 | 19.0 |
| 大津行政センターの建設 | (2) | |
| 地域に参加する人の増加、活動の増加、高齢者の活躍 | 9 | 8.6 |
| 若年層の活動の増加 | (2) | |
| 住民の連携がよい、地域の間人間関係がよい、ネットワークがある | 7 | 6.7 |
| 情報発信の充実(回覧板等) | 4 | 3.8 |
| 地域のイベントがある | 3 | 2.9 |
| 施策の充実 | 2 | 1.9 |
| 自主的に取り組んでいる、地域住民が努力している | 2 | 1.9 |
| 他都市と同じで進んでいる | 2 | 1.9 |
| その他、意見等 | 6 | 5.7 |
| 否定的な回答理由 | 8 | 7.6 |
| | 105 | 100.0 |

「④あまり思わない」「⑤思わない」

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|--|--------|--------|
| 高齢化と活動の衰退、若年層がいない、世代間格差、核になる人材がいない | 14 | 13.5 |
| 地域の間人間関係が希薄、無関心、他人任せ | 13 | 12.5 |
| 活動を知らない、伝わってこない、参加する方法が分からない | 8 | 7.7 |
| 施策の具体的な内容が見えない、取り組みが見えない、成果が見えない | 8 | 7.7 |
| コミュニティセンター等施設を気軽に利用できない、駐車場が狭い、アクセスが悪い | 8 | 7.7 |
| 活性化しない、閉鎖的、旧態依然 | 8 | 7.7 |
| 町内会加入者の減少、地域活動参加者の減少 | 5 | 4.8 |
| 若年層の参加が少ない | (3) | |
| 施策が不十分 | 5 | 4.8 |
| 地域住民の調和がない、新住民を受け入れない | 4 | 3.8 |
| 場がない | 3 | 2.9 |
| 平日日中の活動が多い、単身・子育て世帯や就労者等の生活パターンに合わない | 3 | 2.9 |
| 地域差がある | 3 | 2.9 |
| 一部の人のみが活動している | 2 | 1.9 |
| 意識が低い | 2 | 1.9 |
| その他、意見等 | 18 | 17.3 |
| | 104 | 100.0 |

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

※（ ）は内数

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|-------------------------------------|--------|--------|
| 町内会・自治会、地域活動が盛ん | 16 | 29.6 |
| コミュニティセンター（行政センター）等施設の利用者の増加、講座等の開催 | 7 | 13.0 |
| 地域に参加する人や場の増加 | 6 | 11.1 |
| 住民の連携がよい、地域の間関係がよい、声かけ、共助の推進 | 4 | 7.4 |
| 施策の充実 | 4 | 7.4 |
| 市民公益活動団体への支援 | (2) | |
| 情報発信の充実（回覧板等）、呼びかけの増加 | 3 | 5.6 |
| 市と地域の姿勢、連携 | 3 | 5.6 |
| その他、意見等 | 8 | 14.8 |
| 否定的な回答理由 | 3 | 5.6 |
| | 54 | 100.0 |

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

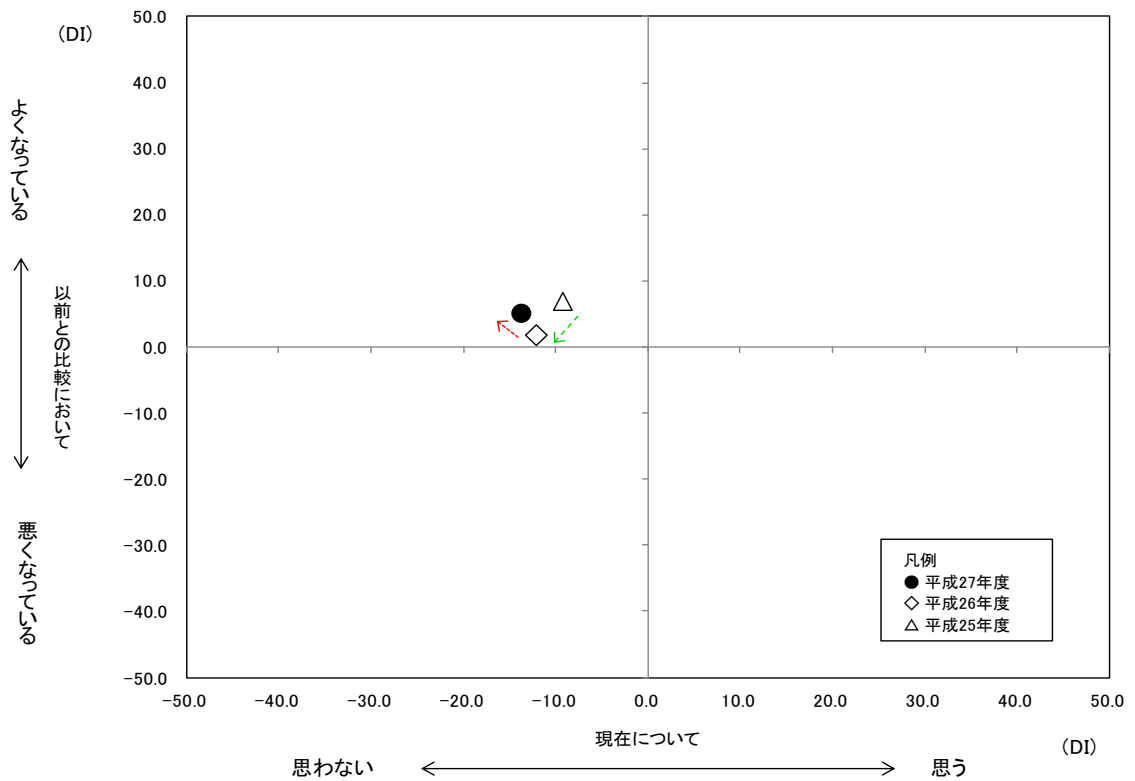
| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|----------------------------|--------|--------|
| 住民の減少、高齢化と活動の衰退、機能低下、世代間格差 | 10 | 25.0 |
| 地域の間関係が希薄、関わりがない | 6 | 15.0 |
| 町内会加入者の減少、若年層の参加が少ない | 3 | 7.5 |
| 輪番制が負担 | 2 | 5.0 |
| 非常識な人が多い | 2 | 5.0 |
| コミュニティセンター等施設を利用しにくい | 2 | 5.0 |
| 活性化しない、女性の立場が弱い | 2 | 5.0 |
| その他、意見等 | 13 | 32.5 |
| | 40 | 100.0 |

III 持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）について

重点プログラムの狙いである「人口減少や少子高齢化などの厳しい状況下においても、着実に成長できるための都市力（都市の魅力）を備えているまち」に対しての実感を尋ねた。

1 持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）を備えているまちの傾向

図表Ⅲ-1 「持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）を備えているまち」の状況（H27-25年度比較）



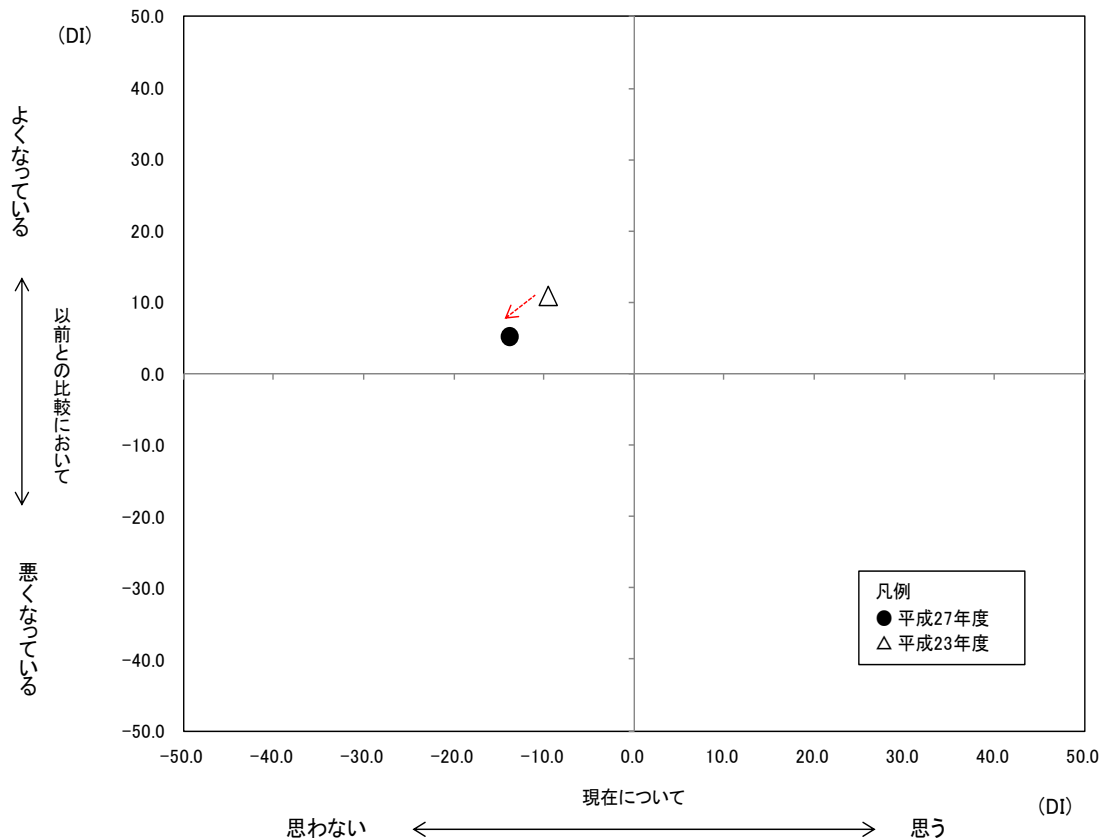
【現在について】

| 調査年度 | 件数(人) | (%) | | | | | (ポイント) | | | | |
|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|---------------|--------------|--------------|
| | | ①思う | ②やや思う | ③どちらともいえない | ④あまり思わない | ⑤思わない | ①+② (a) | ④+⑤ (b) | DI (a)-(b) | 前年度比 | 27-23年度比 |
| 27年度 | 631 | 12.8 | 18.4 | 23.8 | 27.4 | 17.6 | 31.2 | 45.0 | ▲ 13.8 | ▲ 1.6 | ▲ 4.2 |
| 26年度 | 616 | 11.5 | 19.5 | 25.8 | 27.8 | 15.4 | 31.0 | 43.2 | ▲ 12.2 | ▲ 2.9 | |
| 25年度 | 630 | 11.1 | 20.3 | 27.8 | 24.4 | 16.3 | 31.4 | 40.7 | ▲ 9.3 | 3.8 | |
| 24年度 | 671 | 11.2 | 19.2 | 26.1 | 26.2 | 17.3 | 30.4 | 43.5 | ▲ 13.1 | ▲ 3.5 | |
| 23年度 | 676 | 12.1 | 19.4 | 27.4 | 24.4 | 16.7 | 31.5 | 41.1 | ▲ 9.6 | — | |

【以前の比較】

| 調査年度 | 件数(人) | (%) | | | | | (ポイント) | | | | |
|-------------|------------|------------|-----------------|-------------|-----------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------|--------------|
| | | ①よくなっている | ②どちらかというよくなっている | ③変わっていない | ④どちらかという悪くなっている | ⑤悪くなっている | ①+② (a) | ④+⑤ (b) | DI (a)-(b) | 前年度比 | 27-23年度比 |
| 27年度 | 536 | 4.9 | 24.1 | 47.2 | 13.4 | 10.4 | 29.0 | 23.8 | 5.2 | 3.3 | ▲ 5.8 |
| 26年度 | 530 | 5.3 | 22.5 | 46.4 | 15.5 | 10.4 | 27.8 | 25.9 | 1.9 | ▲ 5.1 | |
| 25年度 | 550 | 7.3 | 23.3 | 45.8 | 14.9 | 8.7 | 30.6 | 23.6 | 7.0 | ▲ 0.2 | |
| 24年度 | 561 | 6.4 | 23.5 | 47.4 | 14.1 | 8.6 | 29.9 | 22.7 | 7.2 | ▲ 3.8 | |
| 23年度 | 578 | 8.0 | 23.4 | 48.3 | 11.9 | 8.5 | 31.4 | 20.4 | 11.0 | — | |

【参考】 「持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）を備えているまち」の状況（H27-23年度比較）



今回調査の DI は、「現在について」で約 14 ポイントのマイナス値となっている。「以前との比較」はプラスであるものの、その値は大きくはない。前年度調査との比較では、いずれも大きな変化は見られないものの、特に「現在について」は3カ年を通じて DI が減少傾向となっており、実感が得られているとはいえない状況である。

| 現在について | | 以前との比較 | |
|-------------------------------|-------------------|-------------------------------|--------------------|
| DIの推移 (25年度 → 26年度 → 27年度) | 年度差と状況 (対26年度) | DIの推移 (25年度 → 26年度 → 27年度) | 年度差と状況 (対26年度) |
| ▲ 9.3 → ▲ 12.2 → ▲ 13.8 | ▲ 1.6 変化なし | 7.0 → 1.9 → 5.2 | 3.3 大きな 変化なし |

【回答理由】

◆現在について「①思う」「②やや思う」

「都市力を備えている、可能性がある、成長している、魅力がある」という横須賀の都市力や今後の発展可能性を挙げた回答が最も多く挙げられている。ほかに市の施策の充実、交通利便性、住みやすさ、自然環境、観光などが挙げられている。これらの上位項目は、多寡の差はあるものの、前年度調査とほぼ同様の項目である。

◆現在について「④あまり思わない」「⑤思わない」

市の施策の不足感や「魅力がない、中途半端」など厳しい回答が多く挙げられた。市内外の結婚世代から「住むまち」として選んでもらうための取り組みを打ち出している中で、ターゲット層にとっての魅力のなさを指摘する回答も見られた。ほかに、「人口減少・人口流出、少子高齢化、若年層・子育て世代の流出、子どもがいない」「雇用・企業の減少、産業の衰退、労働力人口の市外流出」などが多く挙げられている。

◆以前との比較「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

市の施策の充実に対する回答が多く挙げられ、中でも集客・観光に関するもの記載が多く見られた。ほかに「テレビなどメディアで取り上げられる、PR の向上、知名度の上昇」「魅力が増した、イメージの向上」など、露出の増加に対する好意的な回答が見られた。

◆以前との比較「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

「人口減少・人口流出、少子高齢化、若年層の市外流出」が最も多く挙げられているほか、「現在について」と同様に、「雇用・企業の減少、産業の衰退、労働力人口の市外流出」や市の政策に対する不足感が挙げられている。また、「商業施設の減少、商店街の空き店舗の増加、買い物客の市外流出」なども挙げられている。

2 回答理由分類

【現在について】

「①思う」「②やや思う」

※（ ）は内数

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|-------------------------------------|--------|--------|
| 都市力を備えている、可能性がある、成長している、魅力がある | 19 | 11.8 |
| 施策の充実 | 17 | 10.6 |
| 谷戸・空き家対策 | (3) | |
| 子育て施策 | (2) | |
| 福祉施策 | (2) | |
| 都市部に近い、交通利便性が高い | 14 | 8.7 |
| 環境がよい、バランスがよい、生活利便性が高い、住みやすい、住み続けたい | 14 | 8.7 |
| 豊かな自然環境、温暖な気候 | 13 | 8.1 |
| 他にはない魅力を活用した集客、観光資源が豊富、知名度がある | 12 | 7.5 |
| 開発・転入者の増加、子育て世帯や子どもの増加、転出の抑制 | 6 | 3.7 |
| 地理的条件がよい | 5 | 3.1 |
| 基地の存在、国際交流 | 5 | 3.1 |
| 横須賀に愛着のある人が多い | 4 | 2.5 |
| 歴史、豊富な文化資産 | 3 | 1.9 |
| 地場産品、農水産業 | 2 | 1.2 |
| 地域活動が盛ん、地域の連携、コミュニティがある | 2 | 1.2 |
| まちに個性がある | 2 | 1.2 |
| 住宅が安い、物価が安い | 2 | 1.2 |
| その他、意見等 | 19 | 11.8 |
| その他の否定的な回答理由 | 22 | 13.7 |
| | 161 | 100.0 |

「④あまり思わない」「⑤思わない」

※ () は内数

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|--|--------|--------|
| 施策が不十分、遅れている、施策に特色がない | 40 | 18.6 |
| 出産・子育て施策や助成が不十分 | (6) | |
| 福祉施策が不十分 | (5) | |
| 教育環境が不十分 | (4) | |
| 横須賀を代表するものがない、都市間競争に勝てる特色がない、他都市の真似 | (3) | |
| 定住施策が不十分、若年層が定住したいと思う施策が不十分 | (2) | |
| 自然に頼りすぎ | (2) | |
| 魅力を生かせていない | (2) | |
| 魅力がない、中途半端 | 34 | 15.8 |
| 市外の人にとって住みたいと思える(移住する)ほどの魅力がない | (4) | |
| 他都市と比較して劣る | (4) | |
| 若い夫婦・子育て世代に魅力がない、子育て環境としての魅力がない | (3) | |
| 若年層に魅力がない | (2) | |
| ベッドタウンとしての魅力がない | (2) | |
| 人口減少・人口流出、少子高齢化、若年層・子育て世代の流出、子どもがいない | 25 | 11.6 |
| 雇用・企業の減少、産業の衰退、労働力人口の市外流出 | 16 | 7.4 |
| 都市力を備えていない、成長がない、持続可能性がない、衰退 | 13 | 6.0 |
| 商業施設の減少、魅力ある商業施設がない、商店街空き店舗の増加、買い物客の市外流出 | 10 | 4.7 |
| 交通利便性が低い、車がないと不便、道路整備が不十分、道が狭い、坂が多い | 10 | 4.7 |
| 都市部まで遠い | (3) | |
| PR、情報発信不足 | 7 | 3.3 |
| 中心市街地やまちに活気がない | 5 | 2.3 |
| 生活利便性が低い、市内で用が足せない、不便 | 4 | 1.9 |
| 基地に頼りすぎ | 4 | 1.9 |
| 遊べる場所がない(市外へ行く) | 3 | 1.4 |
| 基地と原子力のマイナスイメージ | 3 | 1.4 |
| 地理的条件が悪い、陸の孤島 | 3 | 1.4 |
| 税金等が高い、物価が高い、土地が高い | 3 | 1.4 |
| 今の横須賀では(努力しても)厳しい | 3 | 1.4 |
| ベッドタウン、住宅ばかり多い | 2 | 0.9 |
| 大型施設がない | 2 | 0.9 |
| 空き家が多い | 2 | 0.9 |
| 観光地としてはよいが住むまちとしてはよくない | 2 | 0.9 |
| 行政の努力不足 | 2 | 0.9 |
| その他、意見等 | 22 | 10.2 |
| | 215 | 100.0 |

【以前との比較】

「①よくなっている」「②どちらかというよくなっている」

※ () は内数

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|--------------------------------|--------|--------|
| 施策の充実 | 23 | 31.1 |
| 集客・観光事業の充実、観光スポットの増加、観光客の増加 | (11) | |
| 子育て施策 | (2) | |
| 福祉施策 | (2) | |
| 雇用対策、企業誘致 | (2) | |
| テレビなどメディアで取り上げられる、PRの向上、知名度の上昇 | 5 | 6.8 |
| 生活利便性の向上、環境が整ってきた、住みやすくなった | 4 | 5.4 |
| 魅力が増した、イメージの向上 | 2 | 2.7 |
| 若年層、転入者の増加 | 2 | 2.7 |
| 交通利便性の向上、都市部に近い | 2 | 2.7 |
| 公園の整備 | 2 | 2.7 |
| その他、意見等 | 21 | 28.4 |
| 否定的な回答理由 | 13 | 17.6 |
| | 74 | 100.0 |

「④どちらかという悪くなっている」「⑤悪くなっている」

| 回答理由分類 | 延件数(人) | 構成比(%) |
|--|--------|--------|
| 人口減少・人口流出、少子高齢化、若年層の市外流出 | 24 | 28.2 |
| 雇用・企業の減少、産業の衰退、労働力人口の市外流出 | 11 | 12.9 |
| 施策が不十分、特色がない | 9 | 10.6 |
| 出産・子育て施策や助成が不十分 | (4) | |
| 商業施設の減少、魅力ある商業施設がない、商店街空き店舗の増加、買い物客の市外流出 | 6 | 7.1 |
| 都市力を備えていない、成長がない、後退・衰退 | 6 | 7.1 |
| 魅力がない | 6 | 7.1 |
| 他都市と比較して劣る | (4) | |
| 交通利便性が低い | 4 | 4.7 |
| 中心市街地やまちに活気がない | 4 | 4.7 |
| 行政の努力不足 | 3 | 3.5 |
| その他、意見等 | 12 | 14.1 |
| | 85 | 100.0 |

IV 持続可能な発展を遂げる都市力（都市の魅力）

－ 優先して取り組むべき政策について －

「人口減少や少子高齢化などの厳しい状況下においても、横須賀が着実に成長できるために、今後、市はどのような政策に優先して取り組むべきか」について、重点プログラムを構成する10項目の取り組みの方向性と「その他」の選択肢を設け尋ねた。

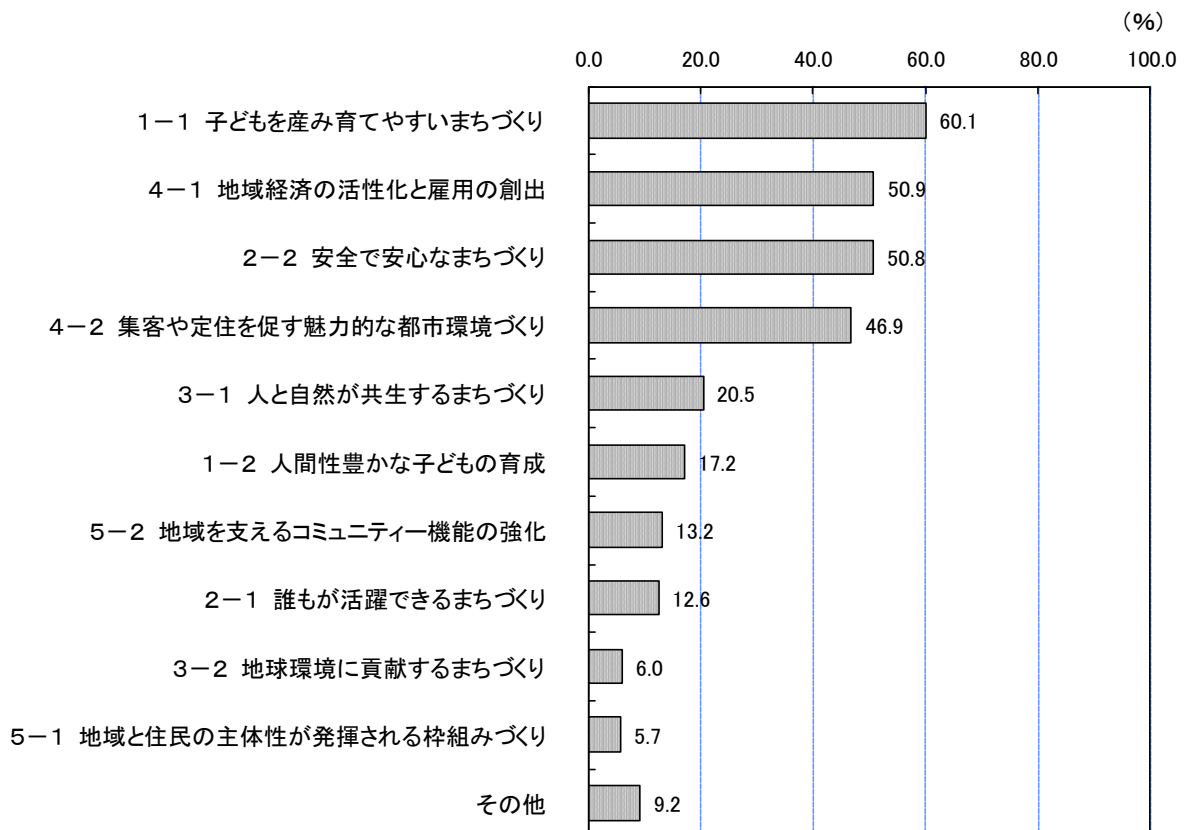
（複数回答3つまで）

1 優先して取り組むべき政策の傾向

（1）平成27年度調査結果

- ・「1-1 子どもを産み育てやすいまちづくり」の回答割合が最も高く（60.1%）、次いで「4-1 地域経済の活性化と雇用の創出」（50.9%）、「2-2 安全で安心なまちづくり」（50.8%）、が選択されている。
- ・選択順位別でも、1番目の項目として「1-1 子どもを産み育てやすいまちづくり」が最も多く選択されている。「4-1 地域経済の活性化と雇用の創出」「2-2 安全で安心なまちづくり」も、1番目の項目として同様の順位傾向となっているが、この2項目の回答割合に差は見られない。

図表IV-1 「優先して取り組むべき政策」（n=697）



※回答は3つまでの複数選択のため、回答割合の合計は100%にならない

図表Ⅳ－２ 「優先して取り組むべき政策」（選択順位別）

| プログラムおよび取り組みの方向性(順位別) | | 全体 | | 1番目 | | 2番目 | | 3番目 | |
|-----------------------|----------------------------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|
| | | 件数(人) | 回答割合(%) | 件数(人) | 回答割合(%) | 件数(人) | 回答割合(%) | 件数(人) | 回答割合(%) |
| プログラム1 | (1-1)子どもを産み育てやすいまちづくり | 419 | 60.1 | 264 | 37.9 | 81 | 11.9 | 74 | 11.1 |
| | (1-2)人間性豊かな子どもの育成 | 120 | 17.2 | 39 | 5.6 | 52 | 7.6 | 29 | 4.4 |
| プログラム2 | (2-1)誰もが活躍できるまちづくり | 88 | 12.6 | 30 | 4.3 | 29 | 4.3 | 29 | 4.4 |
| | (2-2)安全で安心なまちづくり | 354 | 50.8 | 115 | 16.5 | 158 | 23.2 | 81 | 12.2 |
| プログラム3 | (3-1)人と自然が共生するまちづくり | 143 | 20.5 | 24 | 3.4 | 67 | 9.8 | 52 | 7.8 |
| | (3-2)地球環境に貢献するまちづくり | 42 | 6.0 | 2 | 0.3 | 20 | 2.9 | 20 | 3.0 |
| プログラム4 | (4-1)地域経済の活性化と雇用の創出 | 355 | 50.9 | 121 | 17.4 | 127 | 18.6 | 107 | 16.1 |
| | (4-2)集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり | 327 | 46.9 | 67 | 9.6 | 115 | 16.9 | 145 | 21.8 |
| プログラム5 | (5-1)地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり | 40 | 5.7 | 2 | 0.3 | 8 | 1.2 | 30 | 4.5 |
| | (5-2)地域を支えるコミュニティ機能の強化 | 92 | 13.2 | 6 | 0.9 | 18 | 2.6 | 68 | 10.2 |
| その他 | | 64 | 9.2 | 27 | 3.9 | 6 | 0.9 | 31 | 4.7 |
| 回答数(n) | | | | 697 | 100.0 | 681 | 100.0 | 666 | 100.0 |

※回答は順に3つまでの複数選択のため、それぞれの回答数(n)は異なる
 ※着色は選択順位別の上位3項目

(2) 平成27年度－25年度調査結果

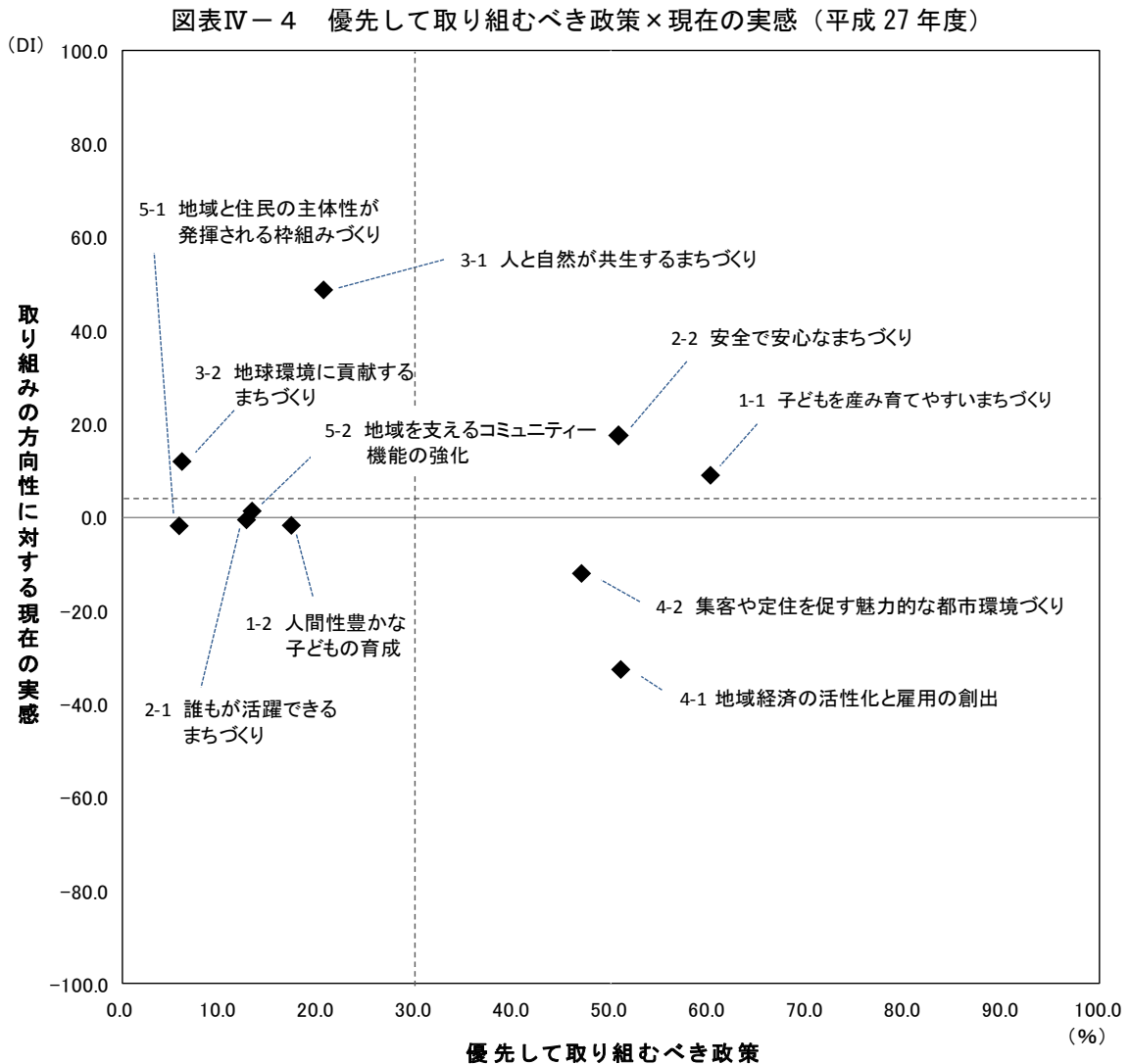
- ・平成25年度調査以降、全体的な回答割合の傾向に大きな差は見られない。
- ・前年度調査と比較して、2位の「4－1 地域経済の活性化と雇用の創出」と、3位の「2－2 安全で安心なまちづくり」が逆転している。また、2－2は3カ年で6.8ポイント減少しており、全ての取り組みの方向性の中で最も動きが大きい。
- ・これら以外では、「4－2 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり」が8.4ポイント増加している。(2年続けての増加傾向)

図表Ⅳ－３ 「優先して取り組むべき政策」の回答割合(H27-25年度比較)

| 取り組みの方向性 | 27年度(n=697) | | 26年度(n=719) | | 25年度(n=698) | | 27-26年度比 | 26-25年度比 |
|----------------------------|-------------|---------|-------------|---------|-------------|---------|----------|----------|
| | 順位 | 回答割合(%) | 順位 | 回答割合(%) | 順位 | 回答割合(%) | | |
| (1-1)子どもを産み育てやすいまちづくり | 1 | 60.1 | 1 | 61.6 | 1 | 58.7 | ▲ 1.5 | 2.9 |
| (4-1)地域経済の活性化と雇用の創出 | 2 | 50.9 | 3 | 49.0 | 3 | 51.6 | 1.9 | ▲ 2.6 |
| (2-2)安全で安心なまちづくり | 3 | 50.8 | 2 | 55.1 | 2 | 57.6 | ▲ 4.3 | ▲ 2.5 |
| (4-2)集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり | 4 | 46.9 | 4 | 42.8 | 4 | 38.5 | 4.1 | 4.3 |
| (3-1)人と自然が共生するまちづくり | 5 | 20.5 | 5 | 24.3 | 5 | 23.5 | ▲ 3.8 | 0.8 |
| (1-2)人間性豊かな子どもの育成 | 6 | 17.2 | 6 | 16.3 | 6 | 20.6 | 0.9 | ▲ 4.3 |
| (5-2)地域を支えるコミュニティ機能の強化 | 7 | 13.2 | 7 | 15.3 | 8 | 12.2 | ▲ 2.1 | 3.1 |
| (2-1)誰もが活躍できるまちづくり | 8 | 12.6 | 8 | 11.1 | 7 | 15.2 | 1.5 | ▲ 4.1 |
| (3-2)地球環境に貢献するまちづくり | 9 | 6.0 | 9 | 6.3 | 9 | 7.7 | ▲ 0.3 | ▲ 1.4 |
| (5-1)地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり | 10 | 5.7 | 10 | 5.8 | 10 | 4.7 | ▲ 0.1 | 1.1 |
| その他 | — | 9.2 | — | 7.5 | — | 5.6 | 1.7 | 1.9 |

2 優先して取り組むべき政策と取り組みの方向性に対する現在の実感

- ・「優先して取り組むべき政策」の回答割合が平均値より高く、「現在の実感」のDIが平均値より低い項目は、プログラム4を構成する取り組みの方向性の2つとなった。
- ・プログラム1を構成する取り組みの方向性は、いずれも「現在の実感」のDIが平均値に近いが、「優先して取り組むべき政策」の回答割合が大きく異なり、「1-1 子どもを産み育てやすいまちづくり」は全政策の中で最も優先度が高い。一方、「1-2 人間性豊かな子どもの育成」は平均値を下回っている。
- ・同様に、プログラム2を構成する取り組みの方向性でも「2-2 安全で安心なまちづくり」は優先度が3番目に高いが、「2-1 誰もが活躍できるまちづくり」は平均値を下回っている。
- ・プログラム3とプログラム5を構成する取り組みの方向性は、いずれも「優先して取り組むべき政策」の回答割合が平均値より低くなっている。



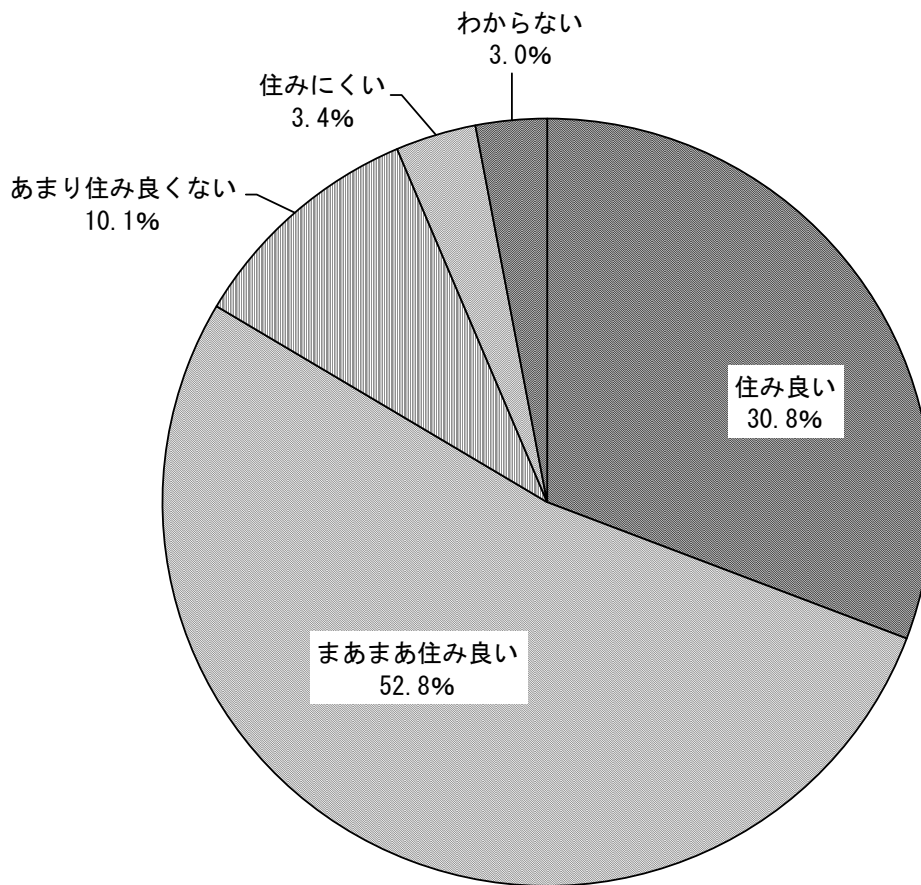
※グラフ内の破線は、「優先して取り組むべき政策の回答割合 (%)」と「取り組みの方向性に対する現在の実感 (DI)」それぞれの平均値を示したもの (X=28.4 Y=4.1)
 平均値の推移：25年度 (X=29.0 Y=11.3) 26年度 (X=28.5 Y=3.5)

V 横須賀市の住み良さや定住意識について

1 横須賀市の住み良さについて 【平成 26 年度新規設問】

「住み良い」(30.8%)、「まあまあ住み良い」(52.8%)を合わせると、回答者の約 83.6%に上り、多くの回答者が住み良さを実感している状況がうかがえる。

図表V-1 「横須賀市の住み良さ」(n=705)



図表V-2 「横須賀市の住み良さ」(H27-26年度)

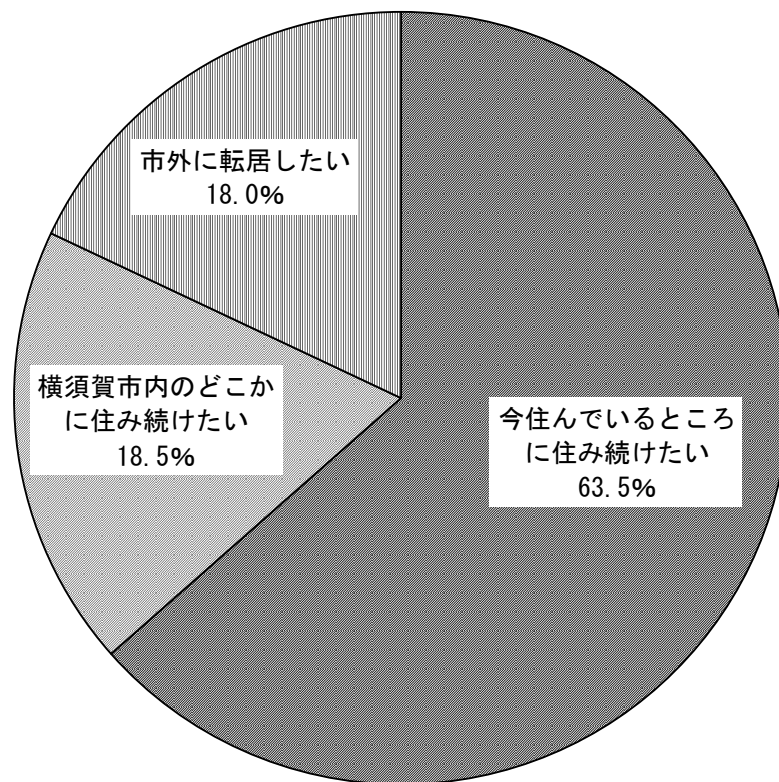
| 調査年度 | 件数(人) | | | | | | (%) | |
|------|-------|-------|-----------|------------|--------|--------|------|------|
| | | ①住み良い | ②まあまあ住み良い | ③あまり住みよくない | ④住みにくい | ⑤わからない | ①+② | ③+④ |
| 27年度 | 705 | 30.8 | 52.8 | 10.1 | 3.4 | 3.0 | 83.6 | 13.5 |
| 26年度 | 716 | 26.1 | 60.5 | 8.1 | 2.8 | 2.5 | 86.6 | 10.9 |

2 横須賀市への定住意識について 【平成 26 年度新規設問】

(1) 横須賀市への定住意識

- ・「今住んでいるところに住み続けたい」（63.5%）、「横須賀市内のどこかに住み続けたい」（18.5%）を合わせると、回答者の 82% に上り、定住意識の高さがうかがえる。
- なお、前年度調査から全体的な回答傾向に変化はみられない。

図表 V-3 「横須賀市への定住意識」(n=701)



図表 V-4 「横須賀市への定住意識」(H27-26 年度)

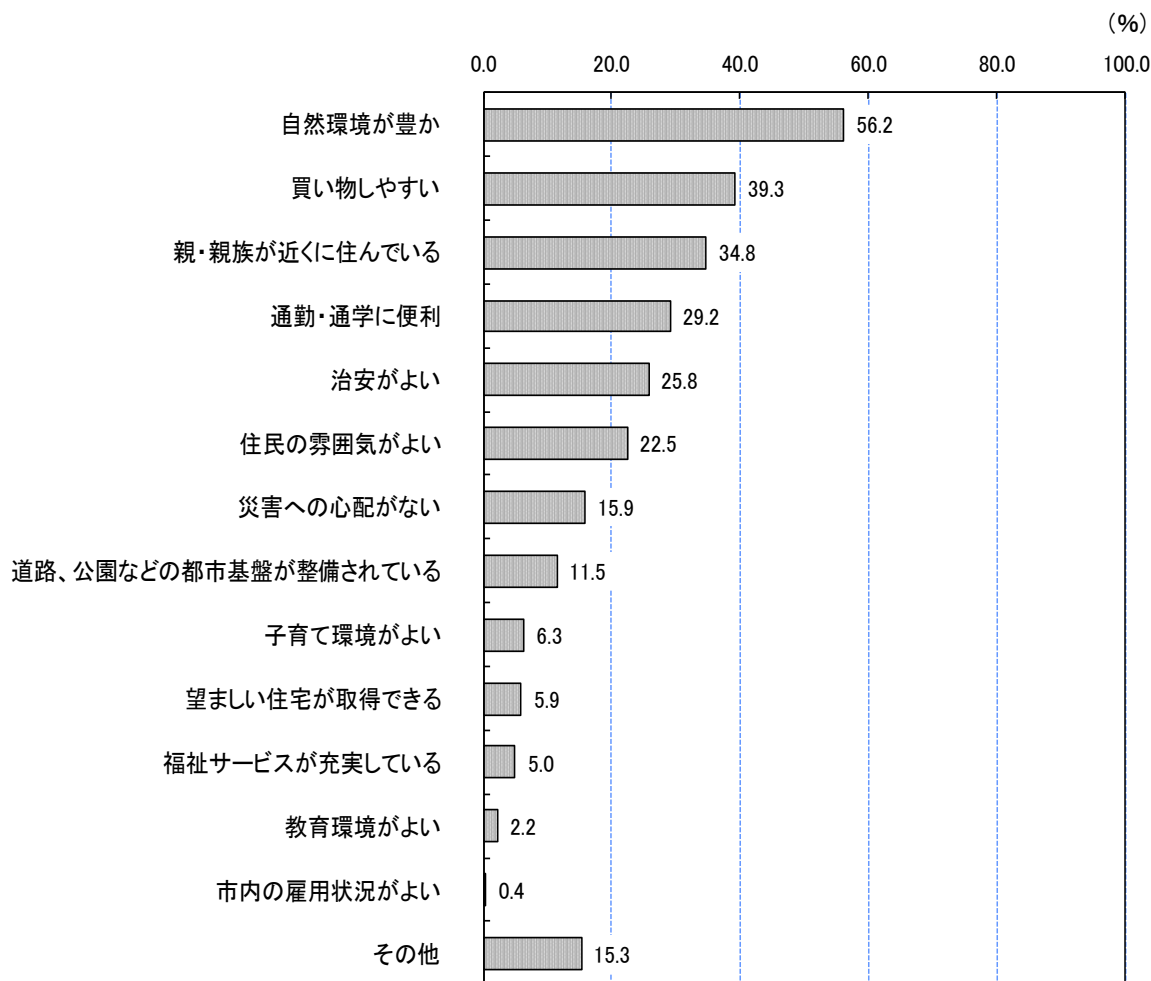
| 調査年度 | 件数(人) | (%) | | | |
|------|-------|-------------------|-------------------|-----------|------|
| | | ①今住んでいるところに住み続けたい | ②横須賀市内のどこかに住み続けたい | ③市外に転居したい | ①+② |
| 27年度 | 701 | 63.5 | 18.5 | 18.0 | 82.0 |
| 26年度 | 712 | 63.1 | 20.8 | 16.2 | 83.9 |

(2) 市内に住み続けたい理由

※「①今住んでいるところに住み続けたい」「②横須賀市内のどこかに住み続けたい」を選択した回答者のみ

- ・「自然環境が豊か」(56.2%) が最も多く選択されており、次いで、「買い物しやすい」(39.3%)、「親・親族が近くに住んでいる」(34.8%)、が多く選択されている。
- ・選択順位別でも、1番目の項目として「自然環境が豊か」が最も多く選択されているが、2番目の項目としては「買い物しやすい」が最も多く選択されている。
- ・「買い物しやすい」は、1番目の項目としては4位となっているが、2・3番目の項目として多く選択された状況となっている。
- ・一方、5位の「治安がよい」(25.8%) は、1番目の項目としては最も多い「自然環境が豊か」に次いで多く選択されているが、2・3番目の項目としては中央に位置し、それほど多くはない。

図表V-5 「市内に住み続けたい理由」(n=555)



※回答は3つまでの複数選択のため、回答割合の合計は100%にならない

図表V-6 「市内に住み続けたい理由」(選択順位別)

| 市内に住み続けたい理由 | 全体 | | 1番目 | | 2番目 | | 3番目 | |
|----------------------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|
| | 件数(人) | 回答割合(%) | 件数(人) | 回答割合(%) | 件数(人) | 回答割合(%) | 件数(人) | 回答割合(%) |
| 自然環境が豊か | 312 | 56.2 | 160 | 28.8 | 94 | 18.7 | 58 | 13.1 |
| 買い物しやすい | 218 | 39.3 | 49 | 8.8 | 103 | 20.5 | 66 | 14.9 |
| 親・親族が近くに住んでいる | 193 | 34.8 | 74 | 13.3 | 48 | 9.5 | 71 | 16.1 |
| 通勤・通学に便利 | 162 | 29.2 | 44 | 7.9 | 74 | 14.7 | 44 | 10.0 |
| 治安がよい | 143 | 25.8 | 77 | 13.9 | 34 | 6.8 | 32 | 7.2 |
| 住民の雰囲気がい | 125 | 22.5 | 20 | 3.6 | 41 | 8.2 | 64 | 14.5 |
| 災害への心配がない | 88 | 15.9 | 35 | 6.3 | 35 | 7.0 | 18 | 4.1 |
| 道路、公園などの都市基盤が整備されている | 64 | 11.5 | 14 | 2.5 | 28 | 5.6 | 22 | 5.0 |
| 子育て環境がい | 35 | 6.3 | 18 | 3.2 | 6 | 1.2 | 11 | 2.5 |
| 望ましい住宅が取得できる | 33 | 5.9 | 6 | 1.1 | 17 | 3.4 | 10 | 2.3 |
| 福祉サービスが充実している | 28 | 5.0 | 15 | 2.7 | 4 | 0.8 | 9 | 2.0 |
| 教育環境がい | 12 | 2.2 | 1 | 0.2 | 6 | 1.2 | 5 | 1.1 |
| 市内の雇用状況がい | 2 | 0.4 | 1 | 0.2 | 1 | 0.2 | 0 | 0.0 |
| その他 | 85 | 15.3 | 41 | 7.4 | 12 | 2.4 | 32 | 7.2 |
| 回答数(n) | | | 555 | 100.0 | 503 | 100.0 | 442 | 100.0 |

※回答は順に3つまでの複数選択のため、それぞれの回答数(n)は異なる

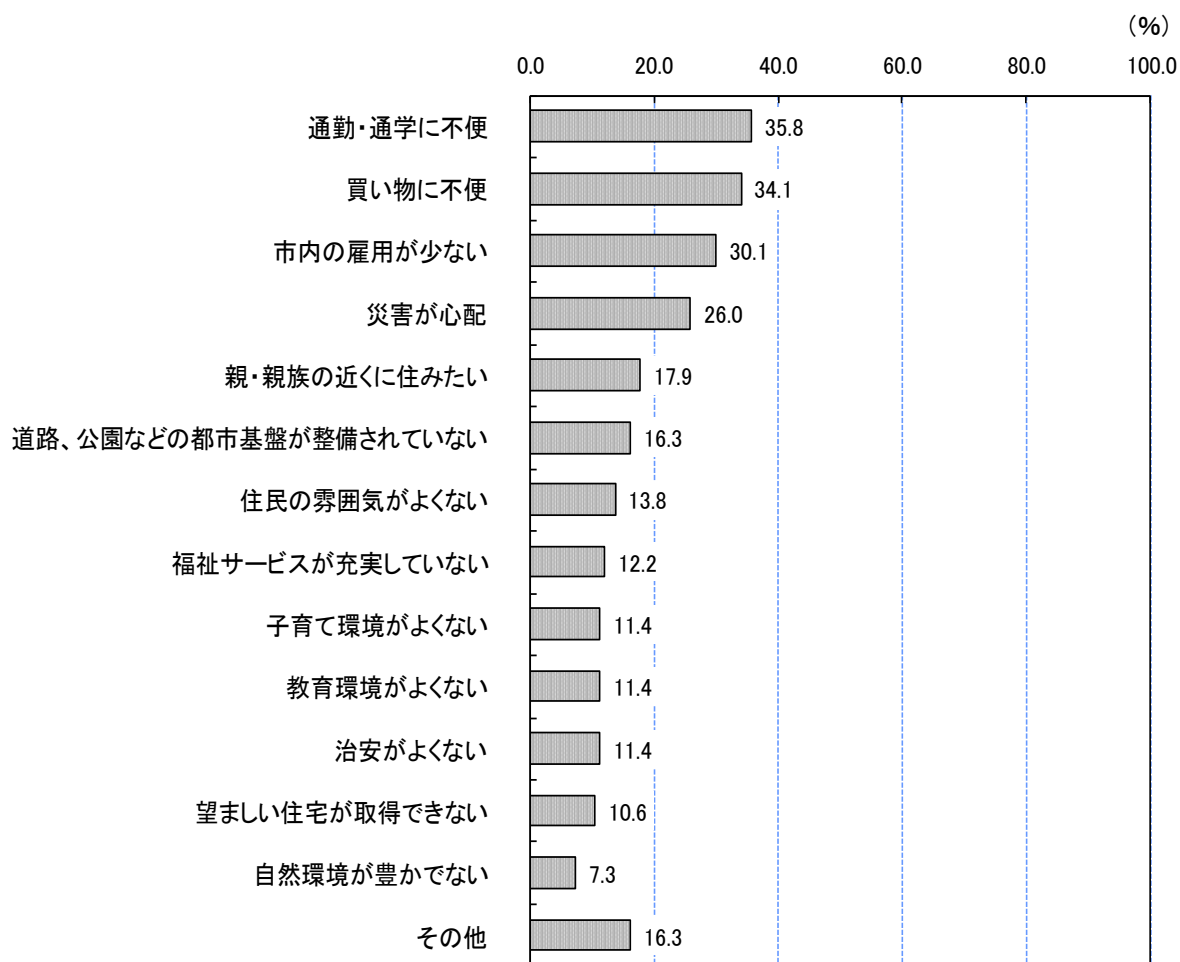
※着色は選択順位別の上位3項目

(3) 市外に転居したい理由

※「③市外に転居したい」(P62)を選択した回答者のみ

- ・「通勤・通学に不便」(35.8%)が最も多く選択されており、次いで、「買い物に不便」(34.1%)、「市内の雇用が少ない」(30.1%)が多く選択されている。
- ・選択順位別でも、1番目の項目として「通勤・通学に不便」が最も多く選択され、次いで「買い物に不便」「市内の雇用が少ない」が同じ回答割合で選択されている。
- ・2番目の項目としては、「市内の雇用が少ない」が最も多く選択され、次いで「通勤・通学に不便」「買い物に不便」が選択されている。なお、「通勤・通学に不便」は1～3番目全てにおいて上位3つまでで選択されている。

図表V-7 「市外に転居したい理由」(n=123)



※回答は3つまでの複数選択のため、回答割合の合計は100%にならない

図表 V-8 「市外に転居したい理由」(選択順位別)

| 市外に転居したい理由 | 全体 | | 1番目 | | 2番目 | | 3番目 | |
|-----------------------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|-------|---------|
| | 件数(人) | 回答割合(%) | 件数(人) | 回答割合(%) | 件数(人) | 回答割合(%) | 件数(人) | 回答割合(%) |
| 通勤・通学に不便 | 44 | 35.8 | 19 | 15.4 | 14 | 13.5 | 11 | 12.8 |
| 買い物に不便 | 42 | 34.1 | 14 | 11.4 | 14 | 13.5 | 14 | 16.3 |
| 市内の雇用が少ない | 37 | 30.1 | 14 | 11.4 | 17 | 16.3 | 6 | 7.0 |
| 災害が心配 | 32 | 26.0 | 11 | 8.9 | 11 | 10.6 | 10 | 11.6 |
| 親・親族の近くに住みたい | 22 | 17.9 | 11 | 8.9 | 5 | 4.8 | 6 | 7.0 |
| 道路、公園などの都市基盤が整備されていない | 20 | 16.3 | 6 | 4.9 | 10 | 9.6 | 4 | 4.7 |
| 住民の雰囲気がよくない | 17 | 13.8 | 2 | 1.6 | 4 | 3.8 | 11 | 12.8 |
| 福祉サービスが充実していない | 15 | 12.2 | 9 | 7.3 | 3 | 2.9 | 3 | 3.5 |
| 子育て環境がよくない | 14 | 11.4 | 9 | 7.3 | 4 | 3.8 | 1 | 1.2 |
| 教育環境がよくない | 14 | 11.4 | 5 | 4.1 | 7 | 6.7 | 2 | 2.3 |
| 治安がよくない | 14 | 11.4 | 6 | 4.9 | 3 | 2.9 | 5 | 5.8 |
| 望ましい住宅が取得できない | 13 | 10.6 | 2 | 1.6 | 5 | 4.8 | 6 | 7.0 |
| 自然環境が豊かでない | 9 | 7.3 | 5 | 4.1 | 1 | 1.0 | 3 | 3.5 |
| その他 | 20 | 16.3 | 10 | 8.1 | 6 | 5.8 | 4 | 4.7 |
| 回答数(n) | | | 123 | 100.0 | 104 | 100.0 | 86 | 100.0 |

※回答は順に3つまでの複数選択のため、それぞれの回答数(n)は異なる

※着色は選択順位別の上位3項目

基本的な属性(F1～F6)

(1) 性別 (F1)

| 項目 | 件数(人) | 構成比(%) | | | 増減 | |
|-----|-------|--------|-------|-------|----------|----------|
| | | 27年度 | 26年度 | 25年度 | 27-26年度比 | 26-25年度比 |
| 全体 | 718 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | | |
| 男性 | 293 | 40.8 | 43.4 | 41.0 | ▲ 2.6 | 2.4 |
| 女性 | 410 | 57.1 | 55.1 | 56.4 | 2.0 | ▲ 1.3 |
| 無回答 | 15 | 2.1 | 1.5 | 2.6 | 0.6 | ▲ 1.1 |

(2) 年齢 (F2)

| 項目 | 件数(人) | 構成比(%) | | | 増減 | |
|--------|-------|--------|------|-------|----------|----------|
| | | 27年度 | 26年度 | 25年度 | 27-26年度比 | 26-25年度比 |
| 全体 | 718 | 100 | 100 | 100.0 | | |
| 15～19歳 | 25 | 3.5 | 2.7 | 2.5 | 0.8 | 0.2 |
| 20～29歳 | 57 | 7.9 | 8.8 | 8.1 | ▲ 0.9 | 0.7 |
| 30～39歳 | 83 | 11.6 | 12.7 | 12.0 | ▲ 1.1 | 0.7 |
| 40～49歳 | 108 | 15.0 | 16.7 | 13.5 | ▲ 1.7 | 3.2 |
| 50～59歳 | 125 | 17.4 | 14.8 | 18.6 | 2.6 | ▲ 3.8 |
| 60～69歳 | 157 | 21.9 | 22.2 | 23.0 | ▲ 0.3 | ▲ 0.8 |
| 70歳以上 | 147 | 20.5 | 20.5 | 19.8 | 0.0 | 0.7 |
| 無回答 | 16 | 2.2 | 1.6 | 2.6 | 0.6 | ▲ 1.0 |

(3) 居住地域 (F3)

| 項目 | 件数(人) | 構成比(%) | | | 増減 | |
|-------|-------|--------|-------|-------|----------|----------|
| | | 27年度 | 26年度 | 25年度 | 27-26年度比 | 26-25年度比 |
| 全体 | 718 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | | |
| 本庁地域 | 100 | 13.9 | 14.1 | 13.5 | ▲ 0.2 | 0.6 |
| 追浜地域 | 54 | 7.5 | 8.6 | 7.1 | ▲ 1.1 | 1.5 |
| 田浦地域 | 30 | 4.2 | 5.3 | 4.1 | ▲ 1.1 | 1.2 |
| 逸見地域 | 18 | 2.5 | 1.8 | 2.2 | 0.7 | ▲ 0.4 |
| 衣笠地域 | 98 | 13.6 | 14.0 | 14.2 | ▲ 0.4 | ▲ 0.2 |
| 大津地域 | 76 | 10.6 | 10.4 | 10.5 | 0.2 | ▲ 0.1 |
| 浦賀地域 | 76 | 10.6 | 11.5 | 12.6 | ▲ 0.9 | ▲ 1.1 |
| 久里浜地域 | 110 | 15.3 | 13.1 | 13.0 | 2.2 | 0.1 |
| 北下浦地域 | 69 | 9.6 | 8.3 | 8.9 | 1.3 | ▲ 0.6 |
| 西地域 | 72 | 10.0 | 10.9 | 11.3 | ▲ 0.9 | ▲ 0.4 |
| 無回答 | 14 | 2.1 | 1.9 | 2.6 | 0.2 | ▲ 0.7 |

(4) 職業 (F4)

| 項目 | 件数(人) | 構成比(%) | | | 増減 | |
|-----------------------------|-------|--------|-------|-------|----------|----------|
| | | 27年度 | 26年度 | 25年度 | 27-26年度比 | 26-25年度比 |
| 全体 | 718 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | | |
| 農林漁業 | 2 | 0.3 | 0.4 | 0.3 | ▲ 0.1 | 0.1 |
| 自営(商店・工務店・工場等) | 21 | 2.9 | 2.1 | 1.4 | 0.8 | 0.7 |
| 自営(サービス業) | 17 | 2.4 | 2.5 | 2.0 | ▲ 0.1 | 0.5 |
| 会社員・公務員 (事務職・専門職・管理職) | 122 | 17.0 | 14.4 | 16.1 | 2.6 | ▲ 1.7 |
| 会社員・公務員(販売/サービス) | 56 | 7.8 | 8.2 | 11.2 | ▲ 0.4 | ▲ 3.0 |
| 会社員・公務員 (保安・運輸/通信・建設/労務) | 31 | 4.3 | 5.1 | 4.4 | ▲ 0.8 | 0.7 |
| 自由業 | 6 | 0.8 | 0.8 | 0.5 | 0.0 | 0.3 |
| 家事専業 | 119 | 16.6 | 17.2 | 16.4 | ▲ 0.6 | 0.8 |
| アルバイト・パートタイマー・派遣社員 | 137 | 19.1 | 15.2 | 16.4 | 3.9 | ▲ 1.2 |
| 学生 | 34 | 4.7 | 4.0 | 2.6 | 0.7 | 1.4 |
| 無職 | 139 | 19.4 | 25.0 | 23.4 | ▲ 5.6 | 1.6 |
| その他 | 18 | 2.5 | 3.6 | 2.9 | ▲ 1.1 | 0.7 |
| 無回答 | 16 | 2.2 | 1.6 | 2.5 | 0.6 | ▲ 0.9 |

(5) 世帯の状況 (F5)

| 項目 | 件数(人) | 構成比(%) | | | 増減 | |
|----------------|-------|--------|-------|-------|----------|----------|
| | | 27年度 | 26年度 | 25年度 | 27-26年度比 | 26-25年度比 |
| 全体 | 742 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | | |
| 単身世帯(一人暮らし) | 119 | 16.0 | 15.4 | 14.0 | 0.6 | 1.4 |
| 夫婦のみ | 205 | 27.6 | 29.9 | | ▲ 2.3 | 29.9 |
| 小学生未満の子どもがいる | 45 | 6.1 | 6.1 | 6.0 | 0.0 | 0.1 |
| 小学生～中学生の子どもがいる | 70 | 9.4 | 10.2 | 9.4 | ▲ 0.8 | 0.8 |
| 65歳以上の高齢者がいる | 126 | 17.0 | 17.1 | 39.4 | ▲ 0.1 | ▲ 22.3 |
| 該当なし | 162 | 21.8 | 19.6 | 28.7 | 2.2 | ▲ 9.1 |
| 無回答 | 15 | 2.0 | 1.6 | 2.5 | 0.4 | ▲ 0.9 |

※複数回答

(6) 居住年数 (F6)

| 項目 | 件数(人) | 構成比(%) | | | 増減 | |
|--------|-------|--------|-------|-------|----------|----------|
| | | 27年度 | 26年度 | 25年度 | 27-26年度比 | 26-25年度比 |
| 全体 | 718 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | | |
| 1年未満 | 8 | 1.1 | 0.7 | 0.4 | 0.4 | 0.3 |
| 1～3年 | 30 | 4.2 | 4.0 | 2.9 | 0.2 | 1.1 |
| 4～9年 | 44 | 6.1 | 6.3 | 6.0 | ▲ 0.2 | 0.3 |
| 10～14年 | 45 | 6.3 | 6.2 | 5.9 | 0.1 | 0.3 |
| 15～19年 | 50 | 7.0 | 7.1 | 8.1 | ▲ 0.1 | ▲ 1.0 |
| 20～24年 | 56 | 7.8 | 8.1 | 8.7 | ▲ 0.3 | ▲ 0.6 |
| 25年以上 | 469 | 65.3 | 66.2 | 65.4 | ▲ 0.9 | 0.8 |
| 無回答 | 16 | 2.2 | 1.5 | 2.6 | 0.7 | ▲ 1.1 |

基本計画重点プログラム 市民アンケート

質問・回答用紙

-
- ◇ こちらの用紙には、アンケートの質問と回答欄があります。
 - ◇ 回答欄にご記入の上、3つ折りにして同封の返信用封筒（切手不要）に封入し、平成 27 年 5 月 11 日（月）までにご投函ください。
 - ◇ 本調査結果は、市ホームページなどで公表しますが、「アンケート調査結果報告書」の送付を希望される場合は、返信用封筒の裏面に住所・氏名を記載してください。（封筒はアンケート集計には利用しません）
-

重点プログラム1 『新しい芽を育む』

～子どもを産み育てやすいまちづくり・人間性豊かな子どもの育成～

- 問1** 横須賀市は、「子どもを産み育てやすいまち」だと思いますか。
現在について、選択肢1-(1)から、以前(4～5年前)との比較において、
選択肢1-(2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について 回答欄 理由

選択肢1-(1)
① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において 回答欄 理由

選択肢1-(2)
① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

- 問2** 横須賀市は、「人間性豊かな子どもの育成」が進められているまちだと思いますか。
現在について、選択肢2-(1)から、以前(4～5年前)との比較において、
選択肢2-(2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について 回答欄 理由

選択肢2-(1)
① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において 回答欄 理由

選択肢2-(2)
① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

重点プログラム2 『命を守る』

～誰もが活躍できるまちづくり・安全で安心なまちづくり～

- 問3** 横須賀市は、年齢、性別、障害の有無等にかかわらず、いきいきと暮らせる「誰もが活躍できるまち」だと思いますか。
現在について、選択肢3 - (1)から、以前（4～5年前）との比較において、
選択肢3 - (2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について

回答欄

理由

選択肢3 - (1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢3 - (2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

- 問4** 横須賀市は、「安全で安心なまち」だと思いますか。

現在について、選択肢4 - (1)から、以前（4～5年前）との比較において、
選択肢4 - (2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について

回答欄

理由

選択肢4 - (1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢4 - (2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

重点プログラム3 『環境を守る』

～人と自然が共生するまちづくり・地球環境に貢献するまちづくり～

- 問5** 横須賀市は、「人と自然が共生するまち」だと思いますか。
現在について、選択肢5 - (1)から、以前（4～5年前）との比較において、
選択肢5 - (2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について

回答欄

理由

選択肢5 - (1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢5 - (2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

- 問6** 横須賀市は、「地球環境に貢献するまちづくり」が進められているまちだと思いますか。
現在について、選択肢6 - (1)から、以前（4～5年前）との比較において、
選択肢6 - (2)から選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について

回答欄

理由

選択肢6 - (1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢6 - (2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

重点プログラム4 『にぎわいを生む』

～地域経済の活性化と雇用の創出・集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり～

問7 横須賀市は、「地域経済の活性化と雇用の創出」が図られているまちだと思いますか。

現在について、選択肢7 - (1)から、以前（4～5年前）との比較において、
選択肢7 - (2)から選んで回答欄に記入してください。

また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について

回答欄

理由

選択肢7 - (1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢7 - (2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

問8 横須賀市は、「集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり」が進められているまちだと思いますか。

現在について、選択肢8 - (1)から、以前（4～5年前）との比較において、
選択肢8 - (2)から選んで回答欄に記入してください。

また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について

回答欄

理由

選択肢8 - (1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢8 - (2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

重点プログラム5 『地域力を育む』

～地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり・地域を支えるコミュニティ機能の強化～

問9 横須賀市は、「地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり」が進められているまちだと思いませんか。

現在について、選択肢9 - (1)から、以前（4～5年前）との比較において、
選択肢9 - (2)から選んで回答欄に記入してください。

また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について

回答欄

理由

選択肢9 - (1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢9 - (2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

問10 横須賀市は、「地域を支えるコミュニティ*機能の強化」が図られているまちだと思いませんか。

現在について、選択肢10 - (1)から、以前（4～5年前）との比較において、
選択肢10 - (2)から選んで回答欄に記入してください。

また、その理由を理由欄に記入してください。

※コミュニティ：同じ地域に暮らし、協力して地域の課題に取り組む人々の集まり

現在について

回答欄

理由

選択肢10 - (1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢10 - (2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

『持続可能な発展を遂げる都市力』について

今日、多くの自治体がそうであるように、横須賀市も人口減少や少子高齢化などの都市の持続的な発展を妨げる課題に直面しています。

これまでの設問では、この厳しい状況下で着実に成長できるための土台づくり、また、全政策・施策の先導役として基本計画に位置付けた「5つの重点プログラム」に関して、皆さまの実感をお伺いしてきました。

問 11 重点プログラムに関する設問の最後にお伺いします。

横須賀市は、人口減少や少子高齢化などの厳しい状況下においても、着実に成長できるための「都市力（都市の魅力）」を備えているまちだと思いますか。

現在について、選択肢 11 - (1)から、以前（4～5年前）との比較において、選択肢 11 - (2)から選んで回答欄に記入してください。

また、その理由を理由欄に記入してください。

現在について

回答欄

理由

選択肢 11 - (1)

- ① 思う ② やや思う ③ どちらともいえない ④ あまり思わない ⑤ 思わない
⑥ わからない

以前との比較
において

回答欄

理由

選択肢 11 - (2)

- ① よくなっている ② どちらかというよくなっている ③ 変わっていない
④ どちらかというよくなっている ⑤ 悪くなっている ⑥ わからない

問 12 人口減少や少子高齢化などの厳しい状況下においても、横須賀市が着実に成長できるために、今後、市はどのような政策に優先して取り組むべきだと思いますか。次の選択肢から優先すべきと思う順に3つまで選んでその番号を回答欄に記入してください。

なお、⑪その他を選んだ場合は、その内容を記入してください。

- ① 子どもを産み育てやすいまちづくり
- ② 人間性豊かな子どもの育成
- ③ 誰もが活躍できるまちづくり
- ④ 安全で安心なまちづくり
- ⑤ 人と自然が共生するまちづくり
- ⑥ 地球環境に貢献するまちづくり
- ⑦ 地域経済の活性化と雇用の創出
- ⑧ 集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり
- ⑨ 地域と住民の主体性が発揮される枠組みづくり
- ⑩ 地域を支えるコミュニティー機能の強化
- ⑪ その他（具体的にお書きください）

回答欄

| | | | |
|-------|-------|-------|--------------------------|
| 1 番 目 | 2 番 目 | 3 番 目 | 「⑪その他」を選んだ方は、その内容をお書き下さい |
|-------|-------|-------|--------------------------|

『横須賀市の住み良さや定住意識』について

『横須賀市の住み良さや定住意識』についてお伺いします。

- 問 13** あなたにとって横須賀市はどの程度住み良いですか。
選択肢からあてはまるものを1つだけ選んで回答欄に記入してください。
また、その理由を理由欄に記入してください。

| | | | |
|-----|----------------------|----|----------------------|
| 回答欄 | <input type="text"/> | 理由 | <input type="text"/> |
|-----|----------------------|----|----------------------|

選択肢

- ① 住み良い ② まあまあ住み良い ③ あまり住み良くない ④ 住みにくい
⑤ わからない

- 問 14** あなたは現在の横須賀市に住み続けたいと思いますか。
選択肢からあてはまるものを1つだけ選んで回答欄に記入してください。

| | |
|-----|----------------------|
| 回答欄 | <input type="text"/> |
|-----|----------------------|

選択肢

- ① 今住んでいるところに住み続けたい ② 横須賀市内のどこかに住み続けたい
③ 市外に転居したい

※選択肢①②を選んだ方は、問 15 へ進んでください。
選択肢③を選んだ方は、10 ページの問 16 へ進んでください。

問 15 【問 14 で①または②を選んだ方に伺います。】

市内に住み続けたいと思う理由は何ですか。

次の選択肢から順に3つまで選んで回答欄に記入してください。

また、その具体的な理由をそれぞれ記入してください。

- ① 子育て環境がよい
- ② 教育環境がよい
- ③ 福祉サービスが充実している
- ④ 治安がよい
- ⑤ 災害への心配がない
- ⑥ 道路、公園などの都市基盤が整備されている
- ⑦ 自然環境が豊か
- ⑧ 市内の雇用状況がよい
- ⑨ 買い物しやすい
- ⑩ 通勤・通学に便利
- ⑪ 望ましい住宅が取得できる
- ⑫ 住民の雰囲気が良い
- ⑬ 親・親族が近くに住んでいる
- ⑭ その他

回答欄【問 14 で①または②を選んだ方のみ】

| | |
|-----|---------------|
| 1番目 | 具体的な理由をお書き下さい |
| 2番目 | 具体的な理由をお書き下さい |
| 3番目 | 具体的な理由をお書き下さい |

問 16 【問 14 で③を選んだ方に伺います。】

市外に転居したいと思う理由は何ですか。

次の選択肢から順に3つまで選んで回答欄に記入してください。

また、その具体的な理由をそれぞれ記入してください。

- ① 子育て環境がよくない
- ② 教育環境がよくない
- ③ 福祉サービスが充実していない
- ④ 治安がよくない
- ⑤ 災害が心配
- ⑥ 道路、公園などの都市基盤が整備されていない
- ⑦ 自然環境が豊かでない
- ⑧ 市内の雇用が少ない
- ⑨ 買い物に不便
- ⑩ 通勤・通学に不便
- ⑪ 望ましい住宅が取得できない
- ⑫ 住民の雰囲気がよくない
- ⑬ 親・親族の近くに住みたい
- ⑭ その他

回答欄【問 14 で③を選んだ方のみ】

| | |
|-----|---------------|
| 1番目 | 具体的な理由をお書き下さい |
| 2番目 | 具体的な理由をお書き下さい |
| 3番目 | 具体的な理由をお書き下さい |

あなたの健康づくりについて

少子高齢化が進む中、横須賀市では、市民の皆さまがいつまでも健康で、生きがいを持って活躍できる「生涯現役社会の実現」を目指しています。自身の健康管理に関心を持つことや、健康の維持、増進、改善などの行動が広がるように、環境を整えていきます。

そこで、皆さまの健康づくりについてお伺いします。

- 問 17** あなたは、ご自身の健康状態をどのような手段で把握していますか。
選択肢から選んで回答欄に記入してください。【複数回答可】
なお、⑥その他を選んだ場合は、その内容を記入してください。

回答欄

「⑥その他」を選んだ方は、その内容をお書き下さい

選択肢

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ① 学校・勤務先での健康診断 | ② 病院等医療機関での健康診断 |
| ③ 保健所健診センターでの健康診断 | ④ かかりつけの病院・医院での診療 |
| ⑤ 把握していない | ⑥ その他（具体的にお書き下さい） |

- 問 18** 市内の公園等で、町内会や有志の人たちが集まり、ラジオ体操をしていることを知っていますか。（学校の夏休み期間中のみ実施されているものを除く）
選択肢から選んで回答欄に記入してください。

回答欄

選択肢

- ① 知っている ② 知らない

※選択肢①を選んだ方は、問 19 へ進んでください。
選択肢②を選んだ方は、問 21 へ進んでください。

問 19 【問 18 で①を選んだ方に伺います。】

あなたは、そのラジオ体操に参加していますか。
選択肢から選んで回答欄に記入してください。

回答欄

選択肢

- ① 参加している ② ときどき参加している ③ 参加していない

※選択肢①②を選んだ方は、問 21 へ進んでください。
選択肢③を選んだ方は、問 20 へ進んでください。

問 20 【問 19 で③を選んだ方に伺います。】

それはなぜですか。
選択肢からあなたのお考えに近いものを選んで回答欄に記入してください。
【複数回答可】
なお、⑥その他を選んだ場合は、具体的な理由を記入してください。

回答欄

| | |
|--|----------------------------|
| | 「⑥その他」を選んだ方は、具体的な理由をお書き下さい |
|--|----------------------------|

選択肢

- ① 実施の時間に行けない ② 近くで実施していない ③ 自宅でラジオ体操をしている
④ 日常的に運動をしている ⑤ 興味がない ⑥ その他（具体的にお書き下さい）

問 21 あなたは、30分以上*の運動（ウォーキングや自転車での走行等を含む）をどれくらいしていますか。
選択肢から選んで回答欄に記入してください。

※30分以上：1日の合計で30分以上（例：10分を3回なども含む）

回答欄

選択肢

- ① 週3日以上 ② 週2日 ③ 週1日 ④ 月2～3日 ⑤ ほとんどしない

地産地消について

横須賀市では、地場産農水産物の魅力をアピールして消費の拡大を図り、農水産業をはじめとするさまざまな産業の活性化を目指しています。よこすかポートマーケット、すかなごっそをはじめとする「よこすか地産地消ショップ*」を、積極的にPRしています。

そこで、皆さまの地産地消に対する意識についてお伺いします。

*「よこすか地産地消ショップ」では、地場産農水産物を常に取り扱っています。200店以上の飲食店・販売店が登録しています。

問 22 あなたは、食材や加工品を購入したり、飲食店で注文したりするときなどに、農水産物（食材）の産地を意識しますか。
選択肢から選んで回答欄に記入してください。

回答欄

選択肢

- ① 意識する ② ときどき意識する ③ どちらともいえない ④ 意識しない

※選択肢①②を選んだ方は、問 23 へ進んでください。
選択肢③④を選んだ方は、問 24 へ進んでください。

問 23 【問 22 で①または②を選んだ方に伺います。】
あなたは、食材や加工品を購入したり、飲食店で注文したりするときなどに、横須賀市産の農水産物（食材）を選びますか。
選択肢から選んで回答欄に記入してください。

回答欄

選択肢

- ① 必ず選ぶ ② ときどき選ぶ ③ 選ばない ④ 見かけたことがない

横須賀製鉄所（造船所）について

「横須賀製鉄所」（のちの造船所）は、江戸時代末期の1865年、江戸幕府の幕臣である小栗上野介忠順（おぐりこうずけのすけただまさ）らの進言により、フランスの技術者ヴェルニーを招いて建設されました。「横須賀製鉄所」で使用されていた国指定重要文化財「スチームハンマー」は、ヴェルニー記念館に展示されています。

世界遺産となった富岡製糸場（群馬県）は、「横須賀製鉄所」をモデルに設計され、製鉄所の技術が導入されています。また、当時のフランス人技師たちにより、メートル法、複式簿記などが日本で初めて製鉄所で用いられました。

このように、日本の近代工業技術の礎を築き、横須賀の都市としての発展の大きな推進力となった「横須賀製鉄所」は、今年、開設から150年の節目を迎えました。

そこで、横須賀製鉄所（造船所）に関してお伺いします。

問 24 あなたは、横須賀製鉄所（造船所）について知っていますか。
選択肢から選んで回答欄に記入してください。

回答欄

選択肢

- ① よく知っている ② 知っている ③ 聞いたことがある ④ 知らない

問 25 あなたは、横須賀製鉄所（造船所）にゆかりのある次のA、Bの人物について知っていますか。
選択肢から選んで回答欄に記入してください。

- A フランソワ・レオンス・ヴェルニー（横須賀製鉄所首長）
B 小栗上野介忠順（横須賀製鉄所建設を推進した幕臣）

回答欄

選択肢

- ① 2人とも知っている ② Aのみ知っている ③ Bのみ知っている
④ 2人とも知らない

問 26 あなたは、世界遺産となった富岡製糸場（群馬県）が横須賀製鉄所（造船所）をモデルに設計され、その技術が導入されていたことを知っていましたか。
選択肢から選んで回答欄に記入してください。

回答欄

選択肢

- ① 知っていた ② 知らなかった

あなた自身のことについてお伺いします

**※記入もれがあると、いただいた回答が無効になってしまうことがあります。
分析に必要なデータですので、全員の方がお答えください。**

次の各項目において、あなたにあてはまるものを選んでください。

F 1 <性別>

- ① 男性 ② 女性

回答欄

F 2 <年齢>

- ① 15～19歳 ② 20～24歳 ③ 25～29歳 ④ 30～34歳
⑤ 35～39歳 ⑥ 40～44歳 ⑦ 45～49歳 ⑧ 50～54歳
⑨ 55～59歳 ⑩ 60～64歳 ⑪ 65～69歳 ⑫ 70～74歳
⑬ 75歳以上

回答欄

F 3 <お住まいの地域> (次ページに地域別一覧表があります。ご参照ください。)

- ① 本庁地域 ② 追浜地域 ③ 田浦地域 ④ 逸見地域
⑤ 衣笠地域 ⑥ 大津地域 ⑦ 浦賀地域 ⑧ 久里浜地域
⑨ 北下浦地域 ⑩ 西地域

回答欄

F 4 <職業>

- ① 農林漁業 ② 自営(商店・工務店・工場等)
③ 自営(サービス業) ④ 会社員・公務員(事務職・専門職・管理職)
⑤ 会社員・公務員(販売/サービス) ⑥ 会社員・公務員(保安・運輸/通信・建設/労務)
⑦ 自由業 ⑧ 家事専業
⑨ アルバイト・パートタイマー・派遣社員 ⑩ 学生
⑪ 無職 ⑫ その他

回答欄

F 5 <世帯の状況(同居)> (複数回答可 ※①を選択した場合は他の選択肢を選択できません)

- ① 単身世帯(一人暮らし) ② 夫婦のみの世帯
③ 世帯に小学生未満の子どもがいる ④ 世帯に小学生～中学生の子どもがいる
⑤ 世帯に65歳以上の高齢者がいる(ご自身を除く) ⑥ ①～⑤に該当なし

回答欄

F 6 <横須賀市に住んでいる年数>

- ① 1年未満 ② 1～3年 ③ 4～9年 ④ 10～14年
⑤ 15～19年 ⑥ 20～24年 ⑦ 25年以上

回答欄

ご協力ありがとうございました。

地域別一覧表

| (町名) | (地域別) |
|--|----------|
| 稲岡町、不入斗町、上町、小川町、大滝町、楠ヶ浦町、坂本町、佐野町、猿島、汐入町、汐見台、新港町、田戸台、鶴が丘、泊町、日の出町、深田台、富士見町、平成町、平和台、望洋台、本町、緑が丘、三春町、安浦町、米が浜通、若松町 | ➡ ①本庁地域 |
| 浦郷町、追浜町、追浜東町、追浜本町、追浜南町、湘南鷹取、鷹取、夏島町、浜見台 | ➡ ②追浜地域 |
| 田浦町、田浦泉町、田浦大作町、田浦港町、長浦町、箱崎町、船越町、港が丘 | ➡ ③田浦地域 |
| 安針台、西逸見町、東逸見町、逸見が丘、山中町、吉倉町 | ➡ ④逸見地域 |
| 阿部倉、池上、大矢部、金谷、衣笠町、衣笠栄町、公郷町、小矢部、平作、森崎 | ➡ ⑤衣笠地域 |
| 池田町、大津町、桜が丘、根岸町、走水、馬堀町、馬堀海岸 | ➡ ⑥大津地域 |
| 浦賀、浦賀丘、浦上台、小原台、鴨居、光風台、西浦賀、東浦賀、二葉、南浦賀、吉井 | ➡ ⑦浦賀地域 |
| 岩戸、内川、内川新田、久比里、久村、久里浜、久里浜台、佐原、神明町、長瀬、ハイランド、舟倉、若宮台 | ➡ ⑧久里浜地域 |
| 栗田、グリーンハイツ、津久井、長沢、野比、光の丘 | ➡ ⑨北下浦地域 |
| 秋谷、芦名、太田和、荻野、子安、佐島、佐島の丘、湘南国際村、須軽谷、武、長井、長坂、林、御幸浜、山科台 | ➡ ⑩西地域 |

